

認定 NPO 法人キッズドア 2023 冬 困窮子育て家庭アンケートからの緊急提言

2023 年 12 月 認定 NPO 法人キッズドア理事長 渡辺由美子

キッズドアでは物価高騰の中で冬を迎えることを憂慮し、困窮家庭に対して、子どもの心身の状態や家庭の経済状況等についてアンケートを行い、約 1,800 件の回答を得ました。アンケートからは、これ以上家計を切り詰めることができない状況の中で、困窮対策や賃上げ施策の効果を実感できていない困窮家庭の深刻な状況が判明しています。今すぐ、子どもと保護者の命を守る支援が必要です。

1. アンケート調査の結果まとめ

- 困窮家庭の貯金額は、全くないが 40%。10 万円以下の家庭も併せると半数を超える。借り入れがある家庭も 43%に上る。 ほぼ全ての家庭が、物価高騰の影響が厳しいと感じている。
- 子どもへの影響も深刻。悪影響が出ているという回答は半数以上。学校外や地域での体験活動を減らしたという回答が最多。 また、高校生世代については、学習にかかわる悪影響が多数挙げられており、経済的理由で志望校を諦めたという回答が 14%もあった。
- 不登校の課題を抱えている家庭も 2 割に上る。 不登校の背景には、人間関係が理由となっているケースもあるが、授業についていけない、家庭の経済状態の悪化、アルバイトによる疲れ等、学習支援や経済支援によって改善しうる原因も多数見られた。
- 困窮家庭の保護者の 8 割が就労。就労形態はパート・アルバイトが最多 (43%) であり、収入増の見込みについて尋ねると、「増収の見込み有」という回答は 9%にとどまっている。また、育児や介護があつてこれ以上働けない、経験や資格がないので転職できないという回答や、育児を理由とした休暇支援を希望する意見が寄せられた。
- 政府の困窮子育て家庭への支援策について、その効果を実感できていないという回答が 9 割超。
- 児童扶養手当について、物価高騰に見合っていないため、所得制限の引上げを求める声が多数。
- 食費、住宅費、デジタル環境、教育費、保護者の就労への支援を求める声が多く。現金給付や児童扶養手当の増額も望まれている。体験活動や不登校への支援に加え、公的な支援が少なくなる 18 歳以上の子への支援も求められている。

2. アンケート調査からの緊急提言

困窮子育て家庭の命と学びが危機にさらされています。キッズドアは、以下の緊急提言を行います。

- 困窮家庭は子どもの養育が十分できないほどに窮乏している。継続的な現金給付や子育て費用支援を。
- 児童扶養手当の所得制限のすみやかな引き上げが必要。また、児童扶養手当の期間延長・多子世帯への増額等によって、子育てへの継続的な支援を。
- 困窮子育て家庭にも波及するような賃上げ・就労支援が必須。特に、子育て家庭への十分な理解の上で、リスクリング支援、就労支援や休業補償を。
- 困窮家庭の不登校児童生徒は学びの支援につながりにくい。一時の不登校が一生続く負の連鎖を生み出してしまう。不登校と困窮の課題が重複している子どもへ、無料学習会の拡大やフリースクール・塾代の経費支援等の学びの継続のための支援を。
- 経済的な負担による不登校をこれ以上増やさないよう、すみやかに給食費無償化や就学援助の拡充等の負担軽減支援を。
- 困窮子育て家庭の意見を真に反映した政治や政策を。

3. アンケート調査について（概要）

- 目的：食料や日用品、電気・ガス料金等の生活必需品の度重なる値上げが子どもや生活に与えている影響、不登校の状況、政策に対する個人の考えなどを広範に調査することで、困窮子育て世帯の実態と支援ニーズを明らかにし、本当に必要とされる支援の実現につなげること。
- 対象：キッズドアファミリーサポート登録世帯
- 調査期間：2023年11月10日～2023年11月16日
- 回答数：1,822件

4. アンケート結果概要

4.1 回答者の基本属性

回答者の97%が「女性」であり、年齢は「40代」（50%）が半数を占める。居住地は、東京都を含む「南関東」（42%）が約4割と最も多く、「近畿」（14%）、「九州」（11%）、「東海」（10%）など全国に広がっている。

世帯構成は、「母子世帯（離婚調停中、別居中など含む）」（90%）が9割であり、「ふたり親世帯」（7%）が続く。回答者自身を含む生計を一にする家族の人数は「2人」（36%）及び「3人」（35%）、子どもの人数は「1人」（39%）及び「2人」（37%）が多数を占めている。

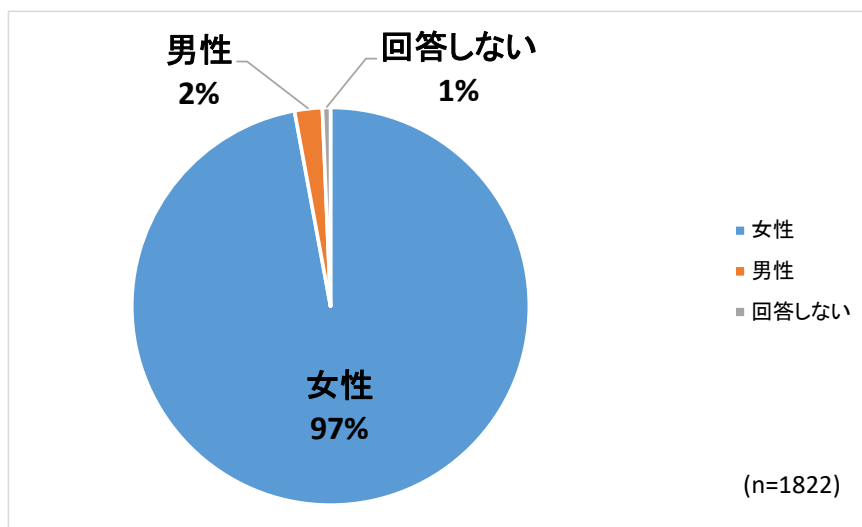


図 1 性別

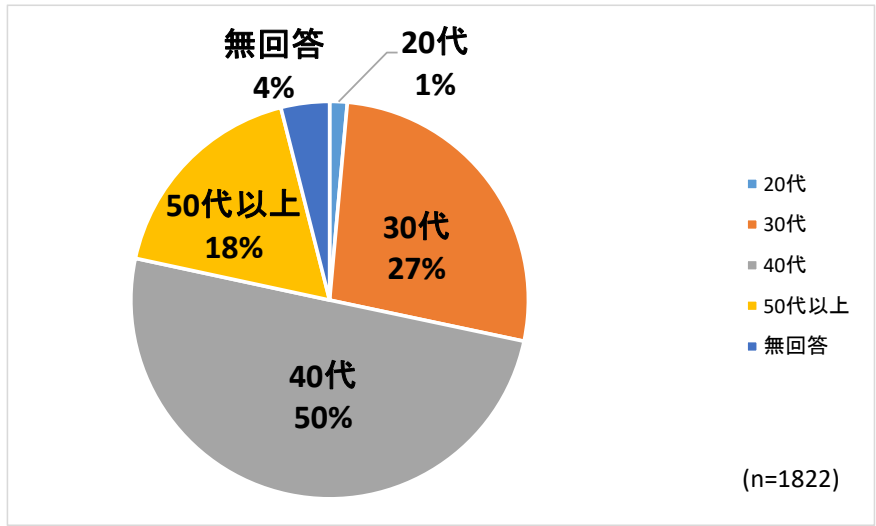


図 2 年齢

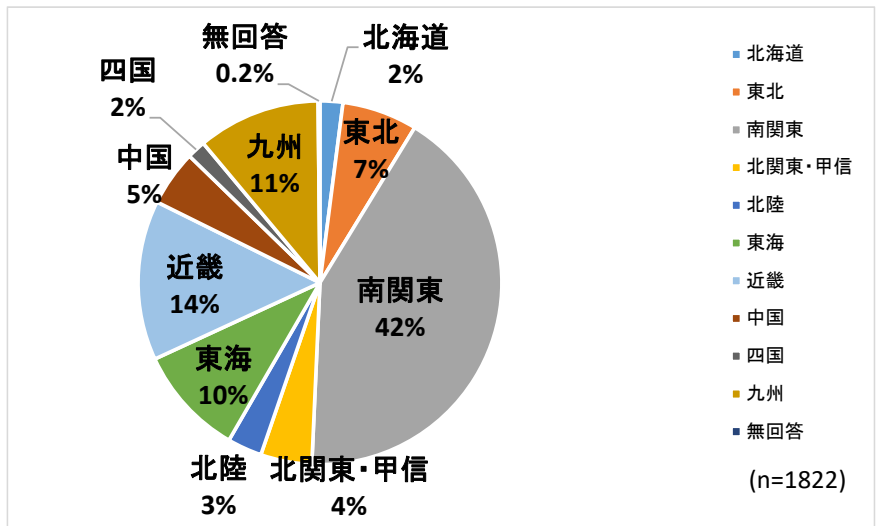


図 3 居住地

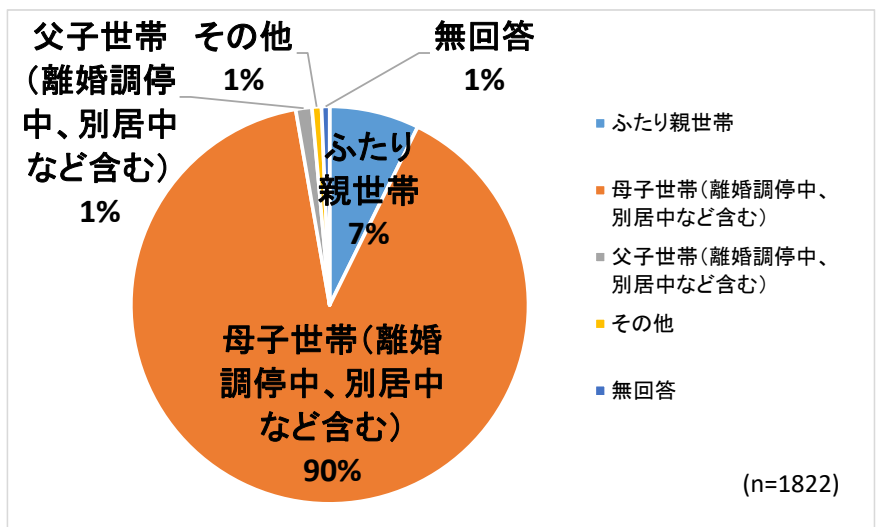


図 4 世帯構成

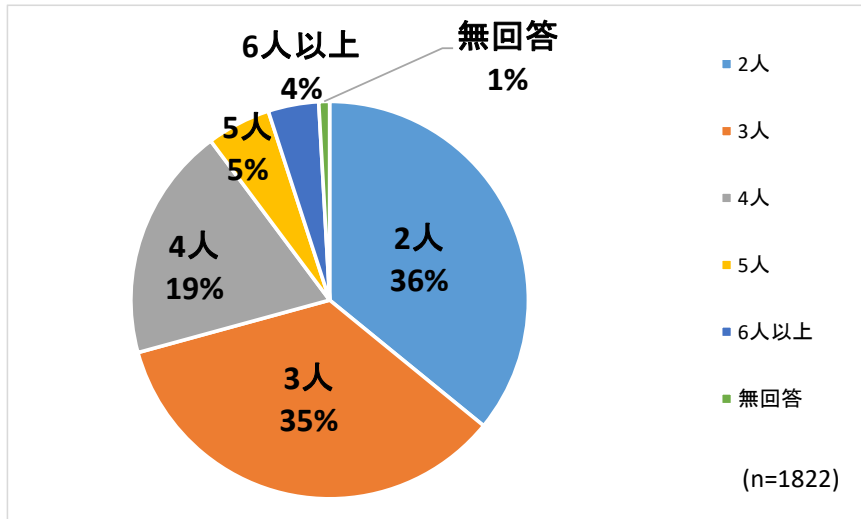


図 5 生計を一にする家族の人数（回答者自身を含む）

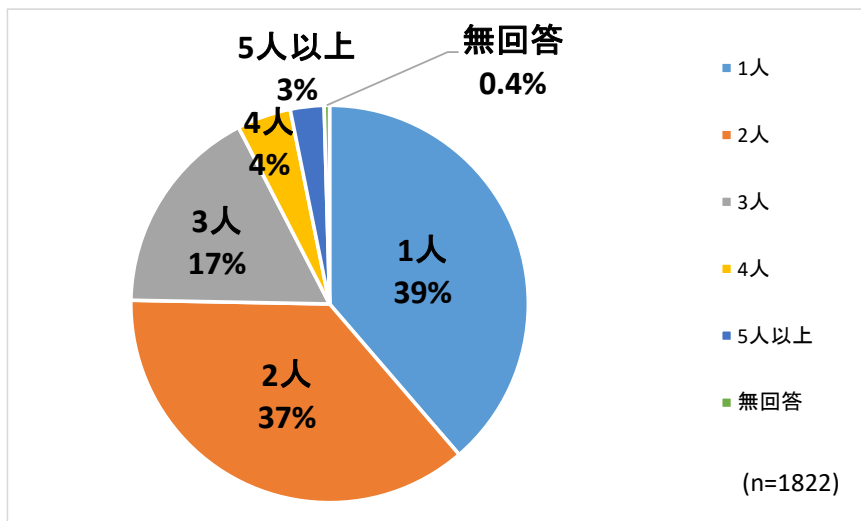


図 6 子どもの人数

4.2 家庭の経済状況

2023年11月時点の貯蓄額では、「貯金はない」（40%）との回答が最も多く、4割を占めた。「貯金はない」と「～10万円」（13%）を合わせて、貯蓄額10万円までの家庭が半数超となっている。また、約4割の家庭が「借入がある」（43%）と回答している。この1年間での新規借入等については、「この1年間で新たな借入やキャッシングはしていない」（49%）が約半数と最も多いものの、「家族や親族から借入」（22%）や「クレジットカードのキャッシングを利用」（12%）など、新規借入等があった家庭も一定程度存在する。

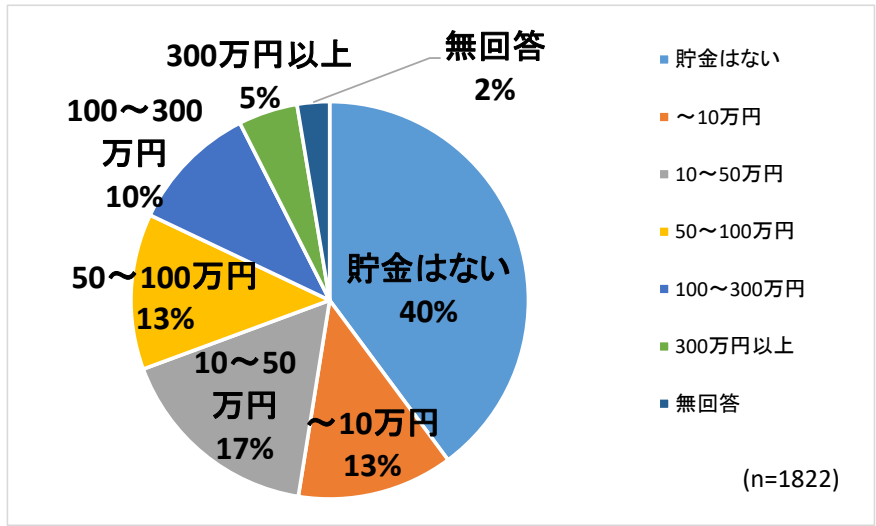


図 7 2023 年 11 月時点の貯蓄額

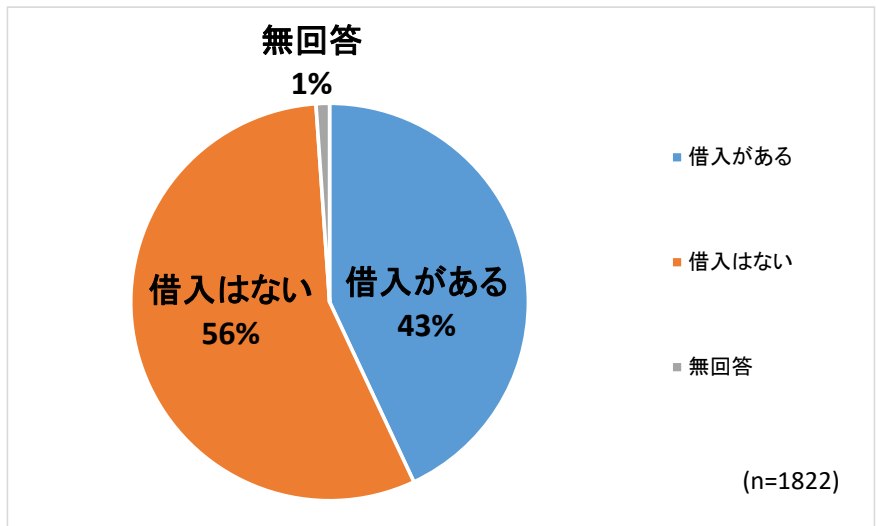


図 8 借入金の状況

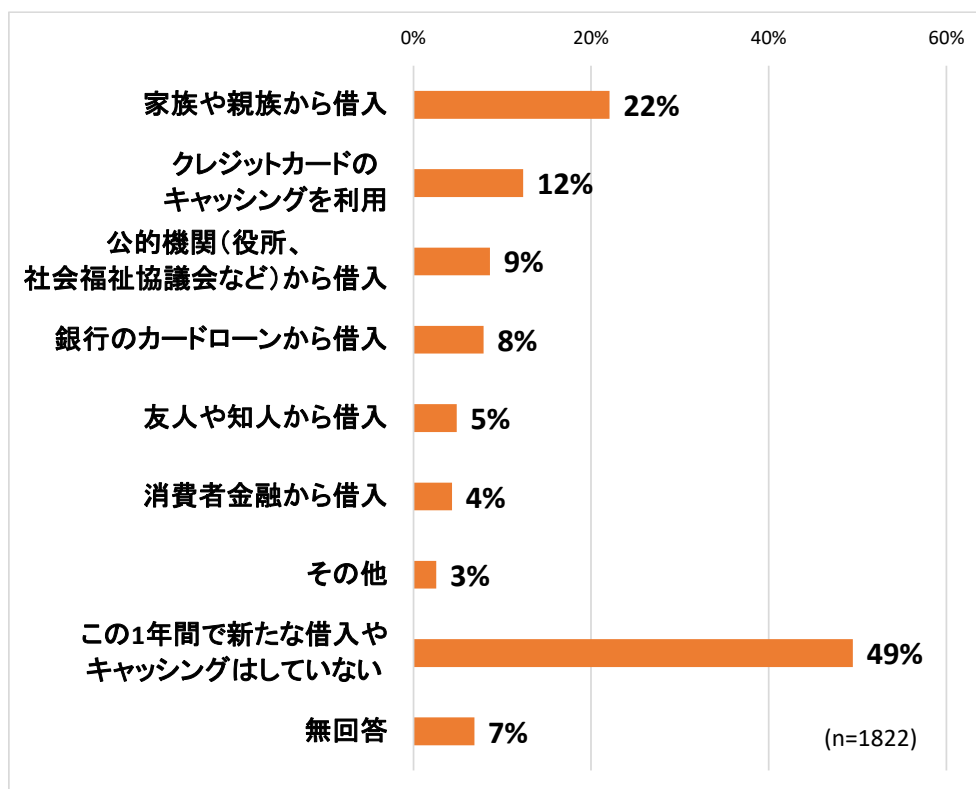


図 9 この1年間で新規借入等の利用状況(複数回答)

4.3 物価高騰の影響

4.3.1 家計全般や食事への影響

物価高騰が続く中で、ほぼ全ての家庭が家計の厳しさを感じている。昨年同時期と比べた家計の変化では「とても厳しくなった」(77%)との回答が約8割と最も多く、「やや厳しくなった」(22%)と合わせると99%を占めた。

昨年同時期と比べた日々の食事の変化では、「外食を減らした」(74%)、「おやつを減らした」(63%)、「肉・魚を減らした」(61%)が上位に挙げられた。「子どもに食べさせるために保護者の食事を減らしたり抜いたりしている」(58%)、「野菜を減らした」(56%)、「テイクアウトを減らした」(52%)も半数を超えている。「日々の食事に関しては特に変わらない」との回答は1%に止まっている。外食や中食といったお金のかかるものを利用できないことはもとより、家庭で調理する食事の質・量への影響も広がっていることが伺える。また、昨年同時期に実施した調査結果と比較すると、全11項目中9項目で回答割合が増加している(「日々の食事に関しては特に変わらない」及び「その他」を除く)。中でも、「子どもに食べさせるために保護者の食事を減らしたり抜いたりしている」は2022年の49%から9ポイント増加した。

保護者と子どものそれぞれについて昨日の食事の回数を尋ねたところ、保護者では、「2回」(48%)が約半数と最多であり、「3回」(28%)、「1回」(22%)が続いている。子どもでは、「3回」(74%)が最も多く、「2回」(23%)が続く。保護者・子どものいずれについても、わずかではあるが「0回」との回答があった。

今後減らす、または、なくす予定の費用としては、「保護者の被服費」(87%)、「家族での外出の費用」(82%)との回答が多く、いずれも8割を超えた。「クリスマスやお正月の費用」(67%)、「食費」(59%)、「子どもの被服費」(51%)も半数を超える。物価が高騰し、すでに家計や日々の食事への影響も大きい

中で、生活の基礎となる衣食の費用、困窮家庭の子どもにとって貴重な体験機会である年末年始のイベントや外出の費用なども削らなければならない厳しい状況が推察される。

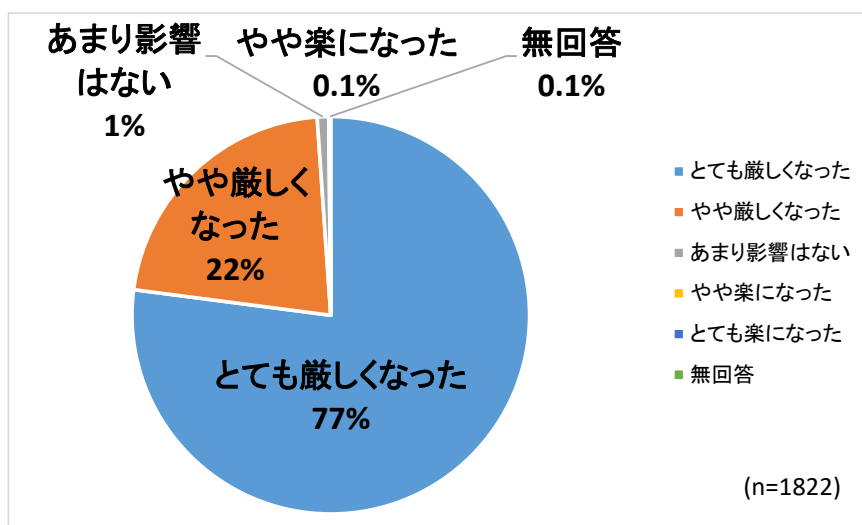


図 10 昨年同時期と比べた家計の変化

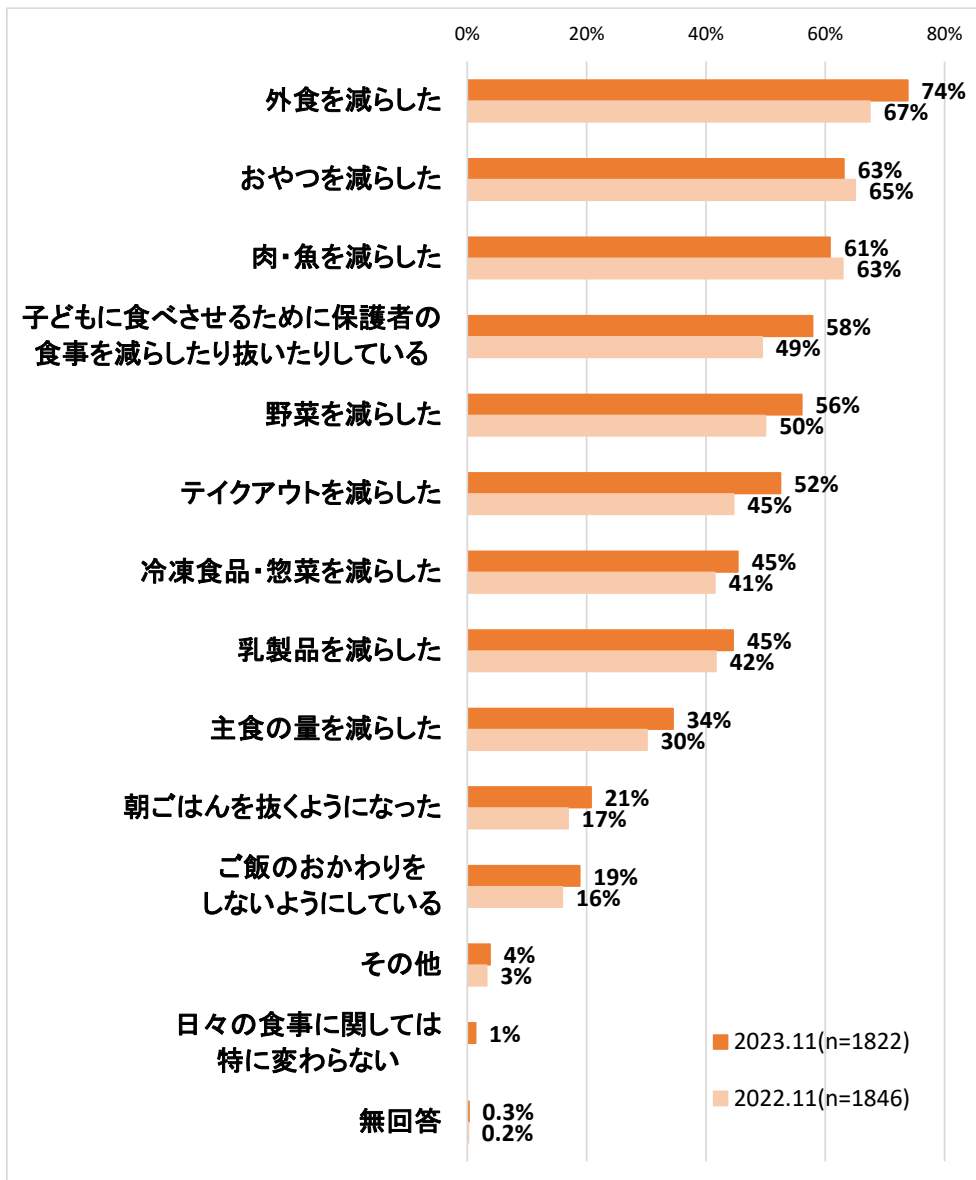


図 11 日々の食事の変化（複数回答）¹

¹ 2022.11 の数値は、キッズドア「2022 年物価高騰の影響把握のための緊急アンケート」（2022 年 11 月実施）より。

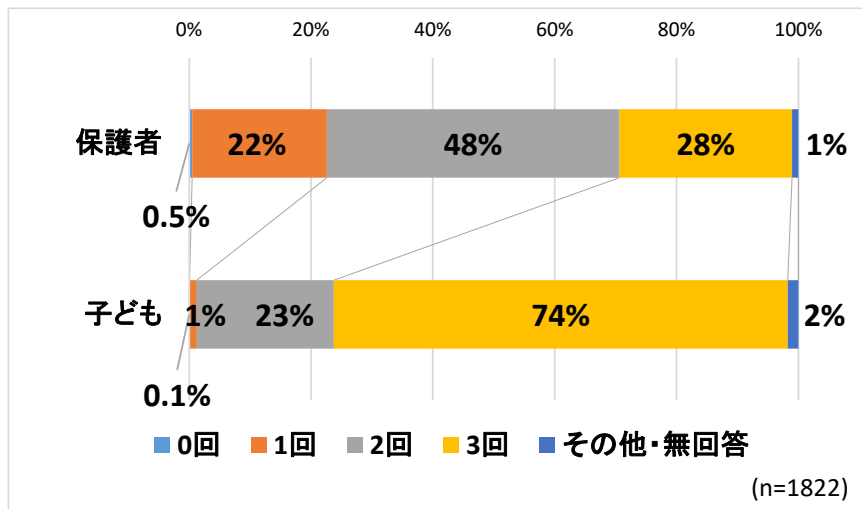


図 12 昨日の食事の回数

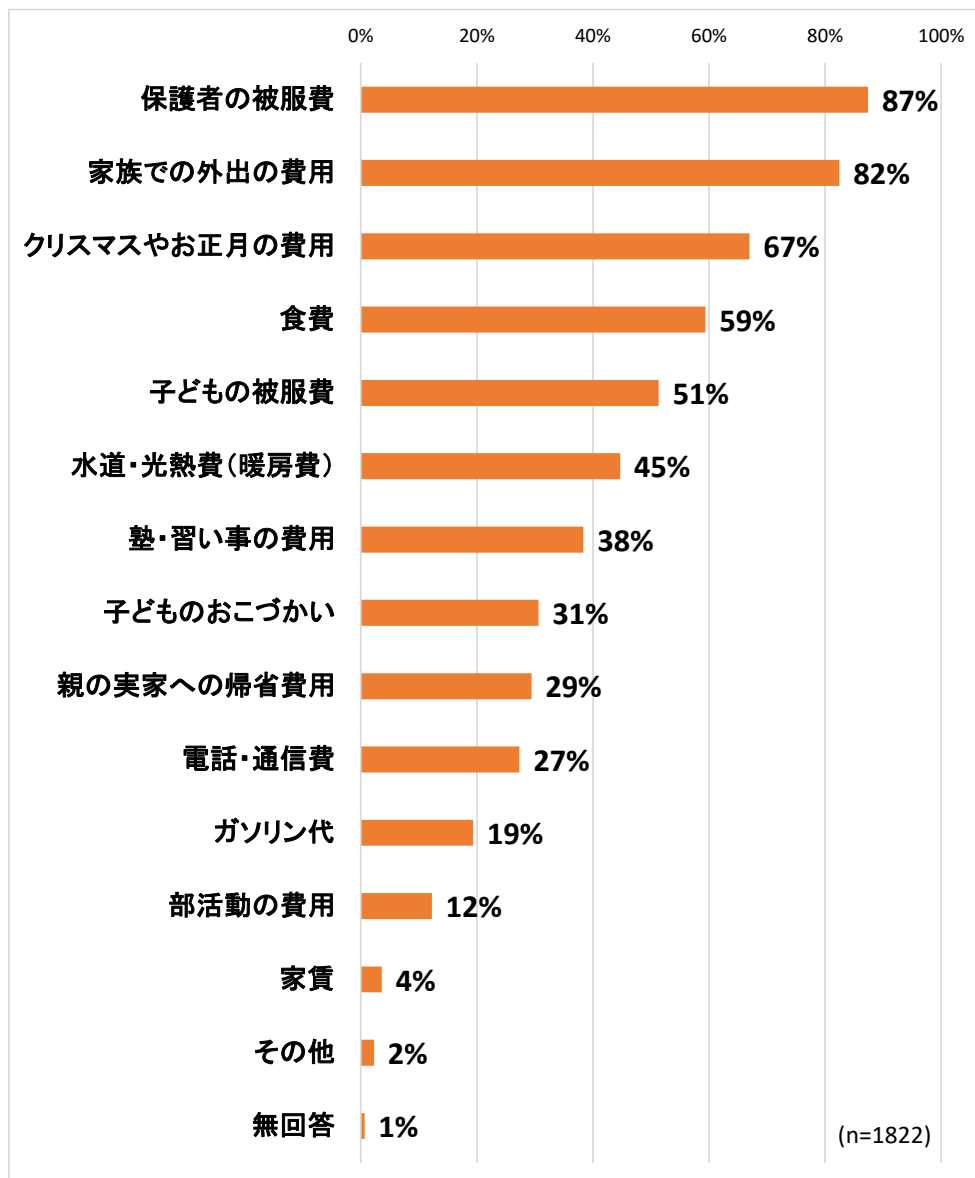


図 13 今後、減らすまたはなくす予定の費用（複数回答）

4.3.2 子どもへの影響

昨年の同時期と比べた子どもの成長や生活の状況について、全体の半数超の家庭で悪い影響が出ているとの結果が得られた（「悪影響が大いに出ている」（19%）と「悪影響が出ている」（36%）の合計）。

悪影響の具体的な内容としては、動物園や美術館等の「学校外の学びの機会を減らした」（55%）が最も多く、「友達と遊びに行くのを減らした」（44%）、「文房具などの学用品の購入を減らした」（40%）、「地域の活動への参加を減らした」（40%）が続く。

物価高騰による高校生世代の学校生活への影響では、「塾や予備校に行けない」（58%）が約6割と最も多く挙げられた。次に多かったのは、「参考書を購入できない」（39%）であり、学習に大きな影響が出ていることが分かる。なお、学習については「オンラインの学習ツールを購入できない」（24%）、「模試を受けられない」（23%）も、2割程度が選択している。「経済的な理由で志望校を諦めた」との回答は14%であった。学習面での影響のほか、「アルバイトを増やした」（24%）との回答も2割程度あった。

これらの学校生活への影響について自由記述で具体的な内容を尋ねた結果、進路選択や学習、部活動、アルバイト、友人関係等の様々な面で、思ったように生活することのできない高校生世代の姿が明らかとなった。進路選択では、経済的な理由から進学ではなく就職を選択する、経済的な負担の少ない進学先にするといった回答が寄せられた。学習面では、授業に必要なPC等を用意できない、本人の希望通りに塾に通うことができない、参考書は中古や友人のものを使うなどの回答が見られた。部活動への影響では、遠征費用が高く部活を辞める、最初から帰宅部にする、部活に必要な費用について子どもが保護者に気を遣う、ボロボロの部活用品で我慢しているとの声もあった。学習や部活以外にも、給食がなくなり毎日の昼食が十分でない、学校行事等の費用が払えない、制服が購入できない、頭髪に関する校則があっても頻繁に散髪することもできないなど、様々な場面で学校生活に影響が出ていることがわかった。アルバイトについては、学業との両立に大きな課題がある。アルバイト代から授業料や昼食代、携帯代を出す、アルバイトで疲れたり勉強がおろそかになっている、勉強よりアルバイト重視になっているという回答が複数あった。友達関係では、お小遣いがなく学校外での友達付き合いをしていない、遊びに誘われても断るなど、経済的困窮によって友人との交流が思うようにできないつらい状況が伝えられた。

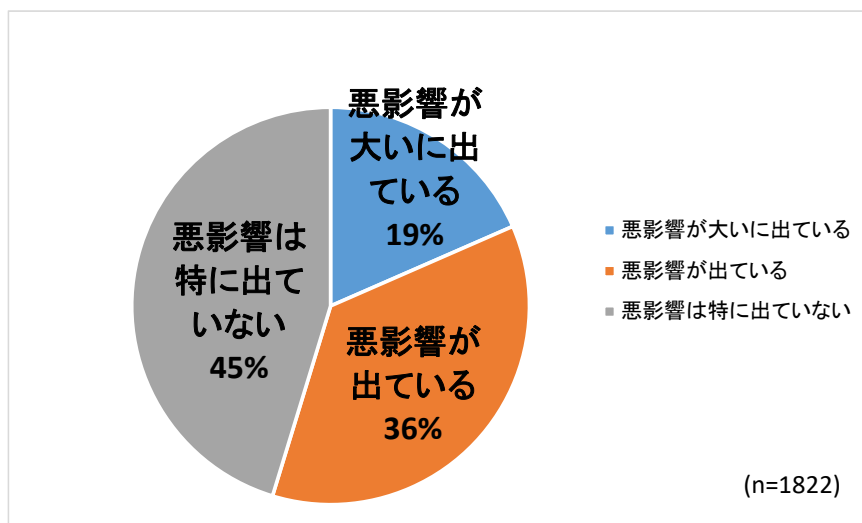


図 14 子どもへの成長や生活への悪影響の有無

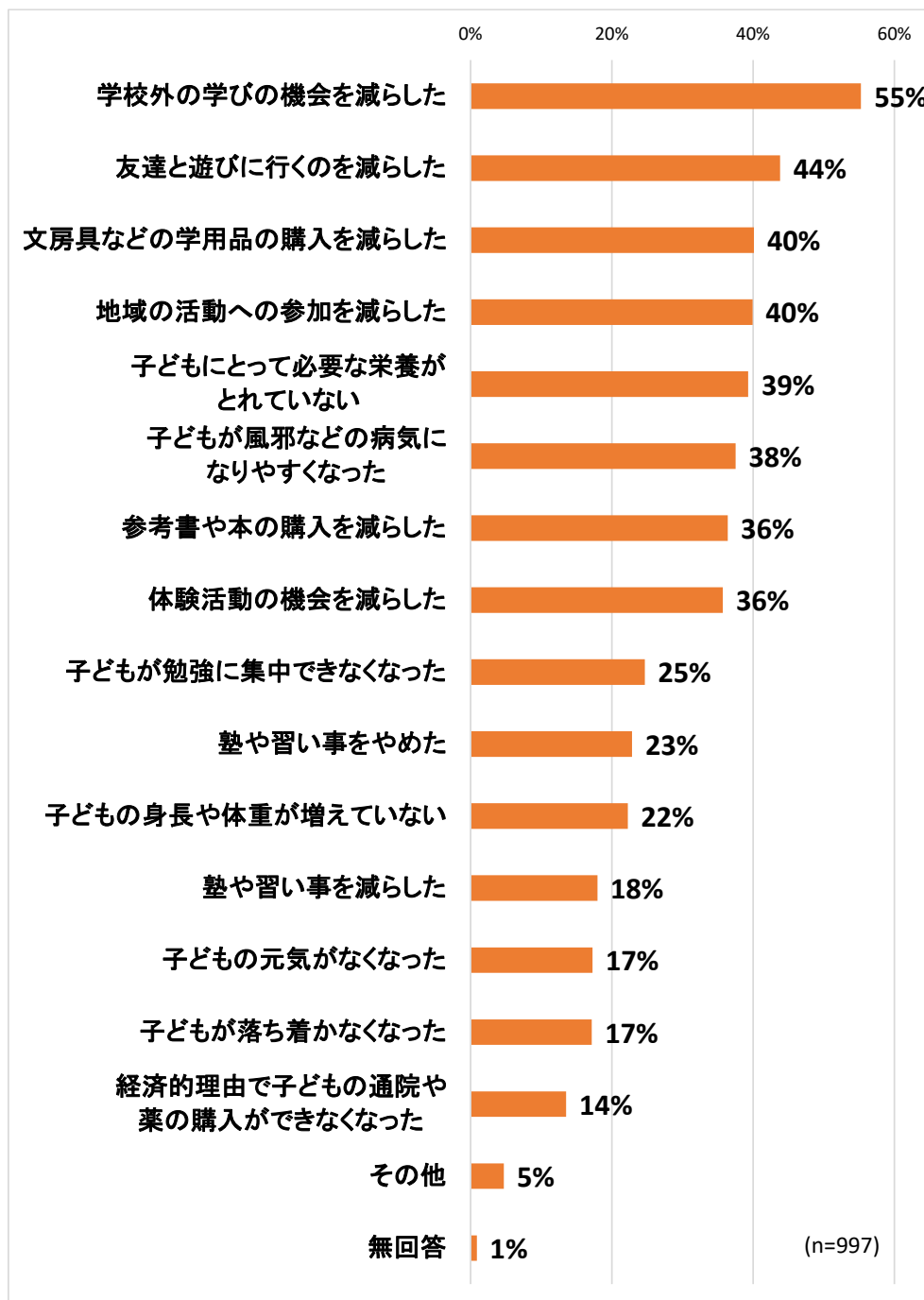


図 15 悪影響の具体的な内容（複数回答）²

² 子どもの成長や生活について「悪影響が大いに出ている」または「悪影響が出ている」と回答した方が対象。

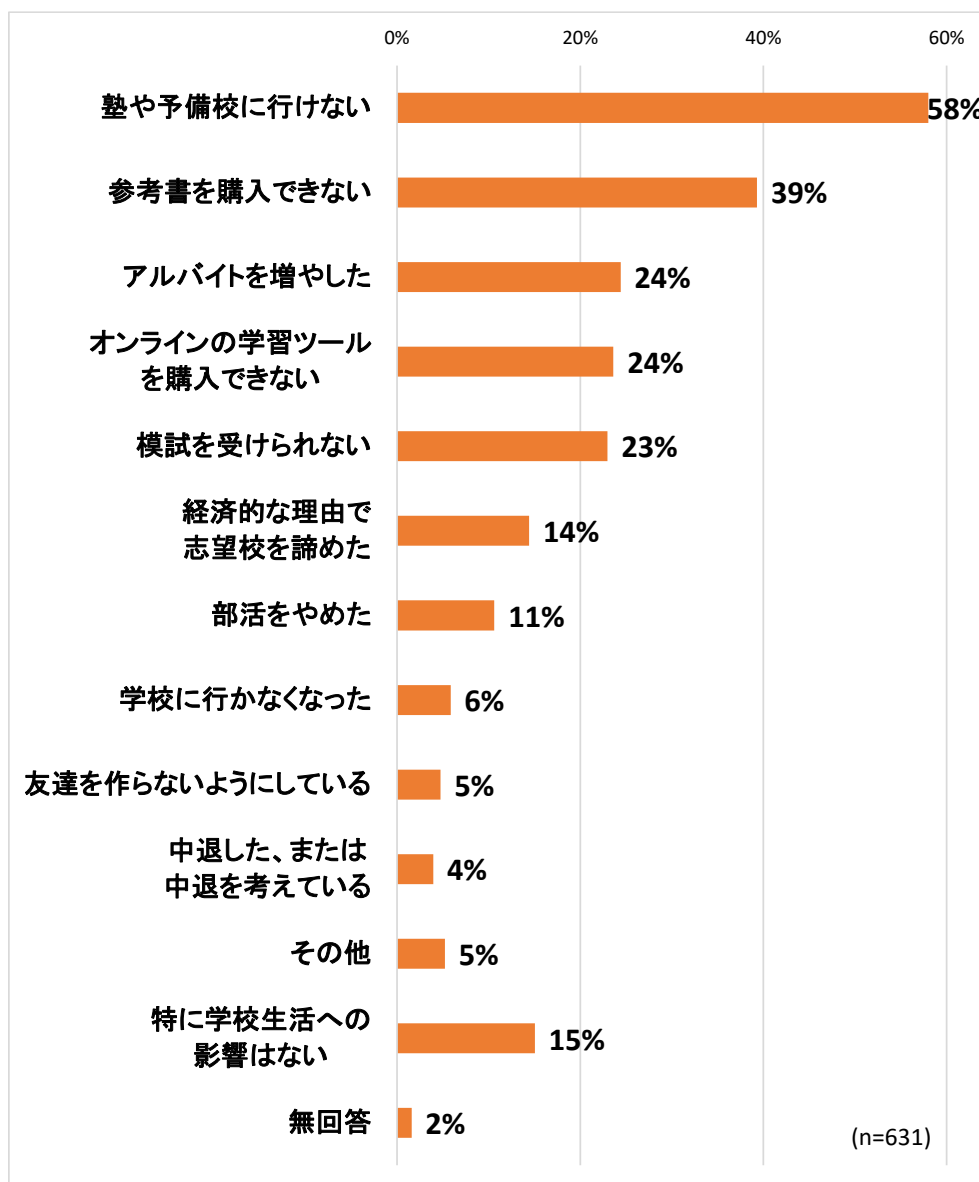


図 16 物価高騰による高校生世代の学校生活への影響（複数回答）³

表 1 物価高騰による高校生世代の学校生活への影響
（自由回答、全 276 件、一部抜粋・引用者にて編集）

➤ 進路選択

- 大学進学を諦めて就職希望になった。
- 県外の専門学校に進学する事を希望されたが、金銭的にムリなので就職に変更してもらえなかった。
- 奨学金を借りての進学について子供に話した所進学は断念して就職の方向に進路を決めたようだ。
- そもそも四大への進学を考えさせないようにし、早く資格をとって、働けるよう短大か専門でお願いした。
- 家庭の状況を見て、本人が早く社会人となるように大学ではなく、専門学校進学を決めました。

³ 高校生世代の子どもがいる回答者が対象。

た。塾などの固定費としての出費は負担が大きく、あきらめた

- 経済状況悪化により下に妹弟がいるため大学進学を諦めた。2人目が高校入学するので、そちらを優先することになった。
- 志望校を経済的な理由で国公立にした。塾行けていないので、これが得策かも分かりません。学校が、良くも悪くも問題集を指定してくるので、出費があります。ひとり親支援もなかなか受けられてません。
- 大学受験を控えているが、本当に行きたいところ（首都圏）は諦めてもらっている。なるべく国公立で受験ができたらと話し合っている。
- 大学進学の学費や入学金の準備ができなくて困っています。現在、大学無償化の制度がありますが、あの制度は、学校によっては、先に入学金を立替えなければなりません。立て替えた分が入学後に返金にされるため、お金のない家庭には、とても利用しにくい制度だと思う。制度の改正をして頂きたいです。

➤ 学習

- PCがない為 家庭で練習が行えず検定を受ける事が出来なかった。
- オンライン授業を受けるためのパソコンがない。スマホも最近ようやく購入した。
- 学校のタブレットが高額で購入出来ず、貸与している。国語などの辞書も購入し、ダウンロードしてタブレットに入れるシステムだか、高額で購入出来ず、ひとりだけ兄が使っていた紙の辞書を使用している。
- そもそも余裕のある家庭ではない為、希望通りに塾へ通わせてあげることが出来ない。他人と自分を比べ、親である私に暴言を毎日あびせ、常にイライラしている。
- 塾に通わせかけたが、物価高騰で他への出費が増えてしまい、予定とかなり違ってしまい、塾を辞めてもいいか子供と話し合いました。本人は、学力に不安があり出来れば続けたいと言いましたが、2ヶ月滞納してしまい。辞めるしかなかった。
- 本人は大学進学を希望しているが、教育費の貯金も必要なので予備校に通わせる余裕がない。
- 高校生の塾は高額なのでどこにも行けていない。自宅で自学をしても限界があり、ついていけなくなった。赤点などをとって、改善が出来ない現在高校2年です。進学を希望しています。しかし経済的に家庭教師、塾、予備校は不可能です。同級生は模試を受けていますが、子供はまだ受けたことがありません。学力面で差がついてしまいました。
- 参考書も安い中古本を購入している。
- 大学受験の子供がいますが、赤本は学校から借り、参考書などは買えず友達のを写メしてます。
- 中学3年生の際には受験生チャレンジ貸付制度等は利用させて頂き、本当に助かりました。しかし公立の学校に通っている場合、塾の必要性は特に感じていて3年生になってからでは間に合わないと思いました。学校側も「塾の先生は何と仰っていますか」など通塾が当たり前の発言をします。対象学年を広げて欲しいと感じています。

➤ 部活動

- 遠征費用等の心配をいつもしていた子供が、部活を辞めました…。そして、その時間をアルバイトにあてています。
- 部費が年間5万円かかり、コンクールの交通費や昼食代などかかり、2人目が高校入学の際に辞めてもらった。校内の予備校に入れていたけど、それも辞めてもらった。
- 部活はお金がかかるので、帰宅部にした。
- 子供に影響が出ないように頑張っていますが、厳しいです。高校生の息子の部活はサッカー部

で部費、スパイクやウェア、お揃いのジャージ、防寒着、コート、合宿費用、交通費など今年は年間で30万近く出費がありました。集金のお知らせを私に渡すたびにいつも“お金かかってごめんね…サッカー辞めようかな”と気にさせてしまうのが申し訳なく、気にしないで、大丈夫だから！とは言いますが、そんな事を気にさせずに思い切りサッカーをやらせてあげたいと思っています。

- 部活にかかる費用があるはずなのになにも言うてこなくなった。こっちから聞かないとお金のお話をしないようになった。
- 部活の靴や衣服をボロボロのまま我慢してもらったり、試合に出かける際に食べる昼食や間食、飲料は出先で購入すると高いので、水道水や大きなおにぎりで我慢してもらっている。
- 部活にかかる費用が平均して月に10万以上かかるので、親子関係がギクシャクしている。

➤ **学校生活に必要なその他の費用（昼食、学用品、学校行事等）**

- お弁当のおかずの量を減らしたりしている。高校生には、給食がないから、お弁当のおかずが買えず、おにぎり一個で我慢してもらってる。本人も段々食べられない状態になってきているが、食べないから、栄養不足なのか、足の爪に影響したり、風邪をひかなかった子がひいたりしている。
- お昼は食べないようにしたり飲み物は冷水機で飲んだりしてるので高校でも給食があると有り難いです。
- 昼ごはんを友達はみんな買っているらしいがうちはそんな余裕ないのでお弁当を持たせている。本当はみんなみたいに買いたらしい。
- 学校の行事（運動会、文化祭）クラスで揃えるTシャツが買えなくてお金をかりました。
- 制服が購入できず（購入は自由だった）制服またはスーツで行く行事の時は中学の時の制服を着て行っている。
- 色々あり、私立高校に入学しましたが指定の物が多く子供が私に遠慮しているのか指定のカーディガンやベスト等必要な物を自分から必要と言っこない。子供が我慢しているのがわかる。親としてつらい。
- 校則で髪の長さなどあるけど、そんなに頻りにカットに行く余裕がない。
- 私立でなく公立の学校は入ってくれたのが、結果としてとても助かっていると思います。授業料無償制度とはいっても、中学までより確実に費用がかかることを実感します。

➤ **アルバイト**

- アルバイト代から授業料など必要経費を出して貰っている。
- お昼ご飯代を渡してやれないため、お弁当をもたせるようにしているが、お弁当を毎回持たせられないためバイトをして自分で昼食を買わなければ食べられない。
- 私の収入が減っている為携帯代は自分でバイトで稼ぐようになっている。勉強がおろそかになっている。塾にも行かせたいがお金がないので行かせられない。本人は大学進学希望ですが、余裕がない。
- 毎日のようにバイトに入り、やっと友達と同じようにご飯を食べに行ったり遠出したり私服や化粧品を買ったりできるようになった。第3人にも外食に連れて行ってあげたりお菓子を買ったりしてくれています。バイトがあるため勉強の時間はとても減ったと思います。
- アルバイトを増やし疲れるようで、休日も寝ていることが増えた。
- 学校とバイトの両立体的にも精神的にも相当厳しいと思う。
- 高校に入学してから交際費がかなりかかるようになり、お小遣いでは間に合わず、行かないこともありました。バイトを始めてからはバイト代で友達と出かけたり、好きなものを買えるよ

うになってそれが嬉しくなってしまう、勉強よりバイトというふうになってしまっていて心配です。

- 私が今、働けてないので家にいくらか入れたいと言ってバイトを始めたのですがもっとシフトに入りたいから学校は…と言い始めています。

➤ 友達関係

- 基本的に子どもたちにはお小遣いがなく学校外での友達との付き合いをしていない。
- 新しくできたクラスのお友達と休日に遊びに行くお誘いをもらっても、経済的な理由で断っていることを知ったときは、とてもショックでした。
- お小遣いを少ししかあげられていないので友だちとの交流に支障がでているようだが、子どもは遠慮して我慢している様子です。
- 遊びに誘われても、費用がかかるものは断っているようです。みんなでファーストフード店に行っても、一番安い単品だけを頼んだり、時には水だけで過ごしたり。また交通費を節約する為に、できるだけ自転車で出かけようとするのですが、遠かったり道が狭かったりすると事故に遭わないかと心配になります。
- 遊ぶお金がないので友達と遊ばないようにしている。しかし言わないので具体的にはわからない。お小遣いは月に500円渡しているが何も買えないと言われたことはある。服は買ってないので中学のジャージを着ている。

➤ その他

- お金がないせいか、オンラインゲームにはまってしまう、ひきこもり状態で学校も退学になりそうです。なんとか高校は卒業してほしいのですが、やる気がなく鬱病なのではないかと心配です。
- ストレスもあるのか体調が一度悪くなると連続で学校を休む事が多くなってきた。病院にも行くがあまりよくなりず他院受診も検討中。
- 長男は友人関係や部活や勉強が上手く行かず不登校になりました。コロナのせいではないかもしれませんが。自分自身に勝てなかったし前に出る性格ではないので可哀想な思いをさせました。先生とも面談したりカウンセリング受けたりしましたが続けられず転校しました。
- スマホを持つのが当たり前の時代、中学までは持たせてなかったけど高校でスマホを持たせてもらえないのは、今や普通でない家庭となり高校生へのスマホの援助があったら良いと思う。
- 就職活動で面接して合否の連絡の時、携帯が止められて合格してたのに不採用になった。
- 昔からためていた貯金箱の小銭がなくなっていました。どうしても、これ以上我慢できなくなって、使い込んでしまったようです。おこづかいがほしいと、言えない環境を作ってしまいました。

4.4 不登校の現状

4.4.1 不登校やその兆候、学習や家での過ごし方

子どもが不登校または不登校気味であるかとの質問に対しては、約2割が「はい」(21%)と回答した。不登校または不登校気味の子どもの学校種は、「小学校」(45%)、「中学校」(39%)、「高校」(24%)となっている。

子どもが不登校または不登校気味であるかとの質問に「いいえ」と回答した家庭に対して、不登校の兆

候の可能性のある状況の有無について尋ねた結果、56%がそのような状況はないと回答した。その一方で、「朝に体調不良を訴えることがある」が16%、「学校へ行きたくないと言い出した」が15%、「遅刻や欠席が増えた」が10%と、現状は不登校または不登校気味ではないものの、何らかの兆候がある子どもが一定程度存在することもわかった。

不登校または不登校気味の子どもの日々の学習状況は、「何もしていない」(52%)が最も多く、半数を超えた。次に多かった「自分で参考書や問題集を使って学習」(17%)は約2割であるものの、自学ではなく誰かに教えてもらう学習方法はいずれも1割未満であった(「通信制の学校で学習」(7%)、「学校や教育委員会の不登校対策教室等で学習」(7%)、「塾で学習」(6%)、「フリースクールで学習」(2%)。)

平日日中の過ごし方としては、約8割が「家にいる」(83%)を選択しており、家以外の場所で過ごすとの回答は、いずれも1割未満と低い水準に止まる(「学校や教育委員会の不登校対策教室等に通っている」(8%)、「無料のフリースクールや学習支援に通っている」(4%)、「有料のフリースクールに通っている」(2%)、「有料の塾に通っている」(2%)。)

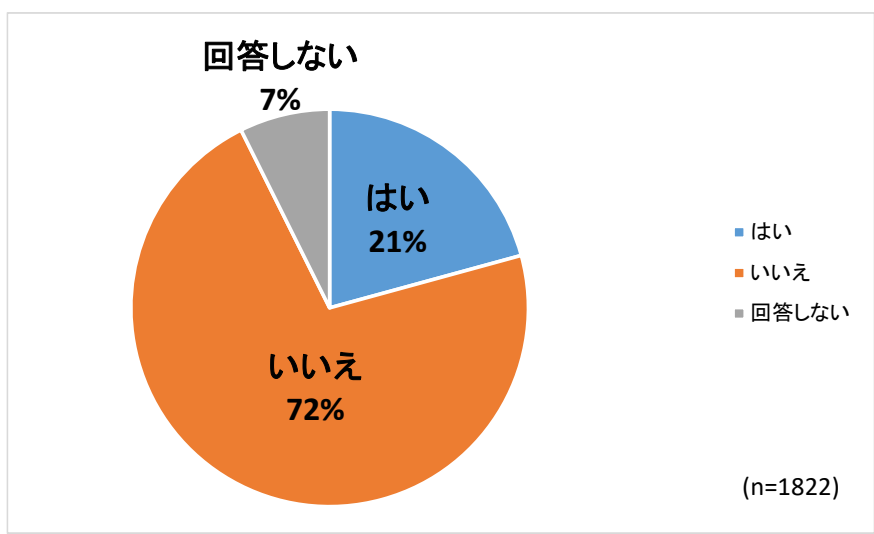


図 17 子どもが不登校または不登校気味であるか

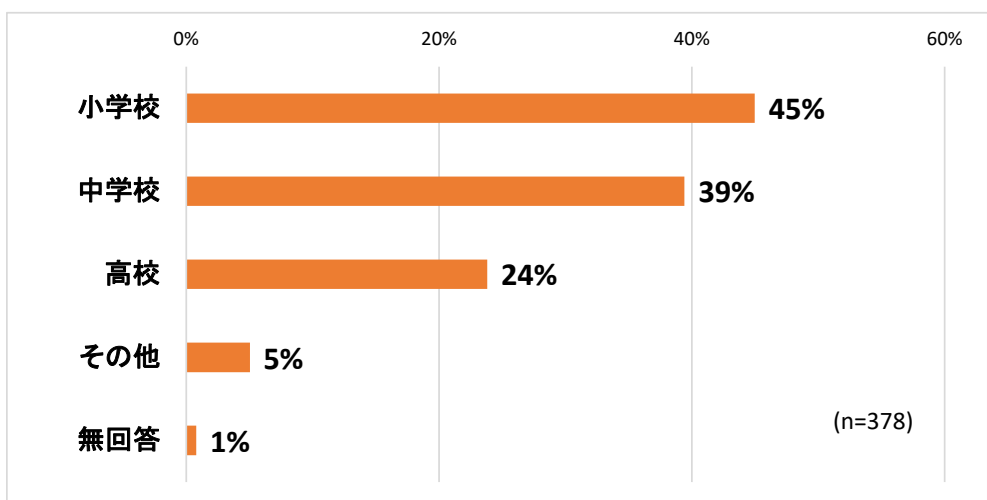


図 18 不登校または不登校気味の子どもの学校種
(複数の子どもが該当する場合は複数回答)⁴

⁴ 子どもが不登校または不登校気味かとの質問に対して「はい」と回答した方が対象。

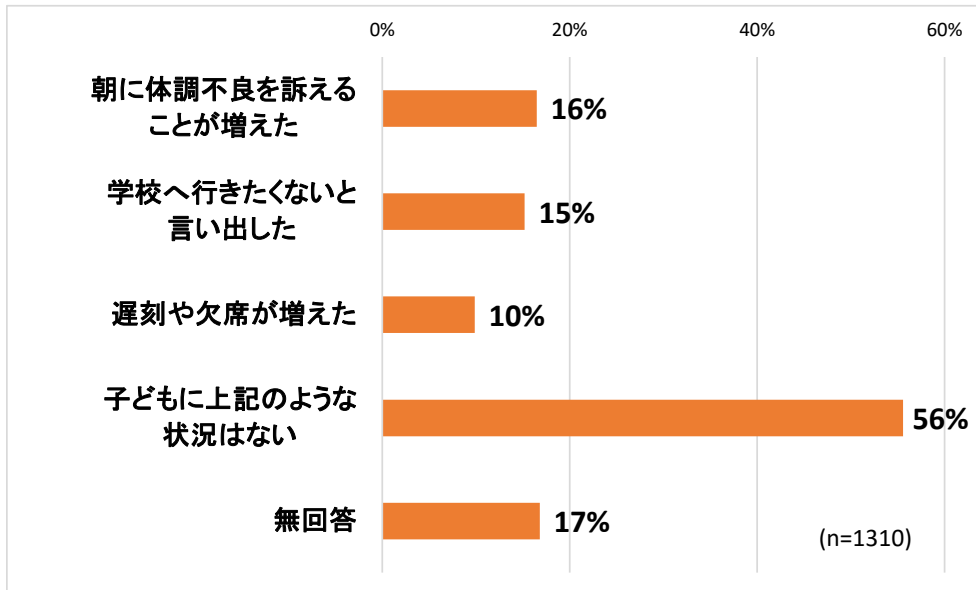


図 19 不登校の兆候の可能性のある状況の有無（複数回答）⁵

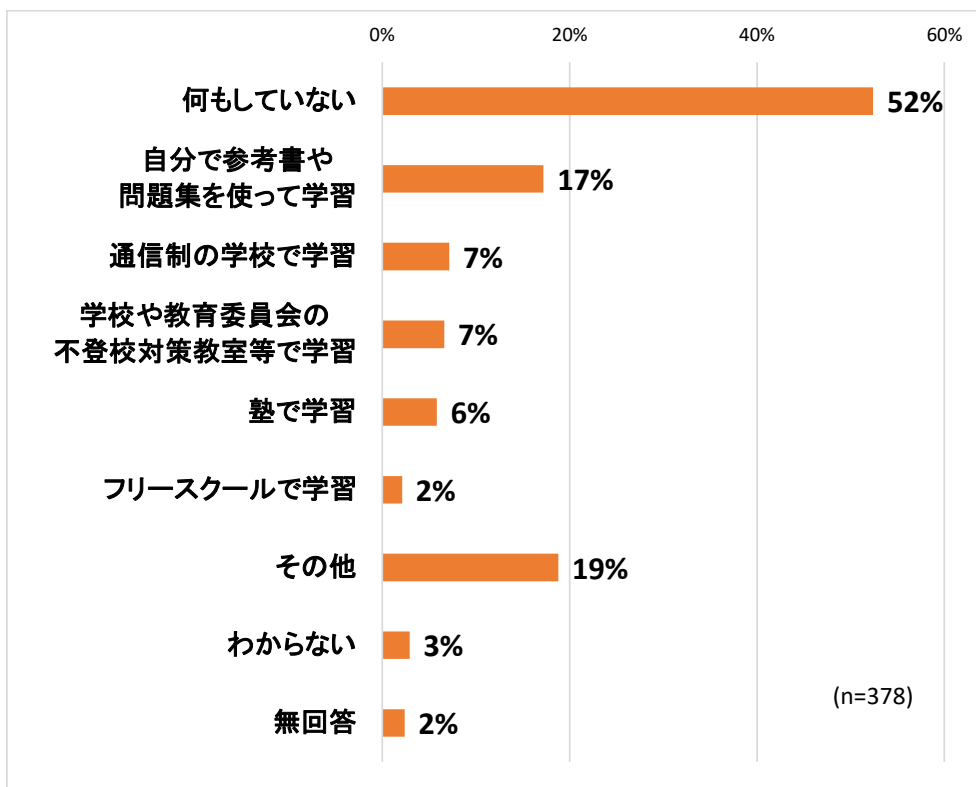


図 20 日々の学習状況（複数回答）⁶

⁵ 子どもが不登校または不登校気味かとの質問に対して「いいえ」と回答した方が対象。

⁶ 子どもが不登校または不登校気味かとの質問に対して「はい」と回答した方が対象。

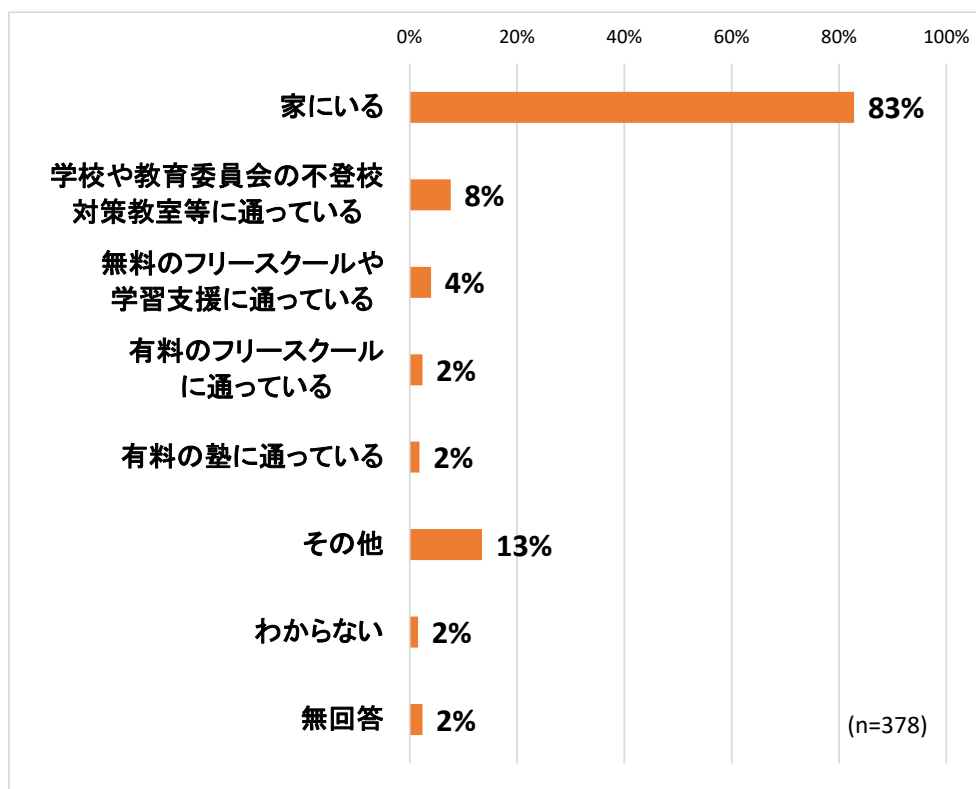


図 21 平日日中の過ごし方（複数回答）⁷

4.4.2 不登校の理由、困りごとや不安、求める支援

本調査では、不登校または不登校気味の子どもがいる家庭に対し、子どもが学校に行かなくなった理由、子どもが学校に行かなくなったことによる困りごとや不安、あったらよいと思う不登校の子どもへの支援を、自由記述で尋ねている。

子どもが学校に行かなくなった理由では、いじめ、学校や教師、友人との関係、授業についていけない、発達障害、体調不良、コロナ禍の影響等が挙げられた。また、家庭の経済状況が不登校の理由と考える回答も複数あり、経済的な面で友人と自分を比べる、出費を抑えていることが友人関係に影響する、学校で必要なものを買えないことで恥をかいてしまうといった声が寄せられた。これらの他、アルバイトの影響、保護者だけでなく子ども自身も理由がわからないという回答も見られた。

子どもが学校に行かなくなったことによる困りごとや不安では、子どもの学習の遅れやコミュニケーション能力への影響、進学や進路への影響が多く挙げられた。多くの保護者が、学校に行かないことで学習や他者との交流の機会が減少し、その結果、進学や将来的な自立が妨げられてしまうことを不安視している。また、体力低下や昼夜逆転の生活、精神的に不安定な状態にあるなど、子どもの健康面を心配する回答も見られた。子どもが日中 1 人で過ごさなければならないことや、保護者の就労に影響が出てしまうことを訴える声も多く寄せられた。特に、子どもが精神的に不安定な状態にある場合など、保護者が仕事に行くことができず、困窮の悪循環に陥ってしまうことが大きな懸念事項となっている。これらの他に、子どもが家庭で過ごすことで食費や光熱費が増加する、通信制等の私立校に通うことで経済的負担が大きくなる、学校とのやり取りが負担になるといった回答が見られた。

あったらよいと思う不登校の子どもへの支援では、多くの回答者が、フリースクールをはじめとする多

⁷ 子どもが不登校または不登校気味かとの質問に対して「はい」と回答した方が対象。

様な居場所や学習場所、また、それらを無料や低額で利用できることを挙げた。近くにフリースクールがない、塾やフリースクールは高くて行かせられないといった声があり、居場所自体を増やすとともに、利用のための経済的支援が必要と言える。自宅外での学習への支援とともに、自宅学習の充実も求められており、オンライン授業を出席扱いにしてほしい、アーカイブ視聴等で個々のペースで学習できるといい、分からないところを聞ける環境があると助かるなどの意見があった。この他に、学校側の体制充実、昼食の支援、相談窓口といった支援を求める回答も寄せられている。また、学校に行けないことを悪いとするような社会のあり方自体が変わるとよいとの声も見られた。

表 2 子どもが学校に行かなくなった理由
(自由回答、全 319 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ いじめ

- クラスメイトからの陰口。
- 高校 1 年の夏にいじめが原因で教室にもう行けないと突然泣き始め、命を守るために定時制に転入させた。
- 小学生の子供は児童や担任にまでいじめがあり鬱になって転校しました。中学生は生徒のいじめがひどくて教師も見て見ぬふりで改善されない。
- 息子は 24 歳で精神疾患を抱えながら職業訓練校に通っていました。そこでの講師の言動に精神が蝕まれ適応障害になってしまいました。
- 担任の先生に皆の前で笑いものにされたり、担任から体育の時間は 1 人運動場で正座を強要させられたり、サッカーゴールの中でドリルをするように指導されて友達から笑いものにされたら、母子家庭を馬鹿にされて担任と会うのが怖くなったようで、学校に行かなくなりました。

➤ 学校や教師、友人との関係

- 学級崩壊。
- 学校に馴染めない。先生と上手く意思疎通がいかない、学校が怖い。
- クラスの雰囲気ガチャガチャし過ぎていて落ち着いて勉強に集中が出来ない。
- 先月から休みがちになった。友人関係か？学校が合わないと言っていた、授業中邪魔したり朝礼を妨害したり、トイレを壊したりする生徒がいるらしい。
- 学校が「怖い」と言っています。6 年生から不登校になりました。担任の先生から最高学年だからしっかりしなさい！という圧があり行けなくなりました。
- 担任の先生と合わない。話をよく聞いてくれない先生。
- 担任の不適切な発言指導により大人や人が怖くなった。
- 友達とのコミュニケーションの難しさ。
- 内気な性格のため周りの子達と仲良くできない。

➤ 授業についていけない

- つまらないと言っているが、勉強がついていけないと思う。
- 勉強がいやだ、意味がないからだそうです。
- 勉強がついていけず、塾に通いたいけど通わせられない。
- 初めは離婚した父親の暴力や関係性から心が壊れてしまったのがきっかけでした。が回復しつつある今は勉強についていけない、どうしたらいいかわからない状態が続き未来に希望が持てなくなっているようです。未来を考えるのもいやだそうです。

- 1番は学力の低下、2つ目に考えられるのは精神的にご飯がたべられなかったり、朝目眩がしたりで、学校に行きたくないという1週間に2日行けたらいい方ですね。

➤ 発達障害

- 学校まで行くのが面倒くさいという。コミュニケーションの障害などがあつたり。勉強するにも板書が出来ない（特性）だったりもするので、辛いんだと思う
- 書き読み障害で4年生から不登校気味で、5年から完全に不登校になってしまいました。
- 場面緘黙症で友達と上手く関係を築けないから。
- 大きな音に敏感だったり、人が多いところや集団生活が苦手だったり、制服の素材が肌に合わなかったり…と学校という制度や環境に馴染めないからだと思います。
- 発達障害、いじめ、勉強、人との関わり方、決まり切ったところが嫌い。
- 発達障害や場面緘黙があり、みんなと同じ教育についていけない。先生が足りなくて配慮してもらえない。短時間の登校をさせたいが保護者が送迎できないと行けない。

➤ 体調面の問題

- 体調が悪いです。起立性低血圧と診断されました。生活環境を正していくしかないのですが、満足に食事もさせてあげられないし、1人になれる部屋もない。日々考えてはいるのですが、現状どうにも改善出来てない。
- 3月まで中学子長男。入学してすぐの休校から起立性調節障害と起立性低血圧で不登校。現在は通信制に少しずつ通うことが出来ている。
- 過眠症が見つかり起きられない日が増え、不登校気味になった。
- 体調不良、貧血や腹痛など。障害児がいる為、ストレス発散がうまくできない（外出など）。
- 不登校というより体調が良くなる。学校は友達も好きで行きたいのになかなか良くなる。まだ連続で休んで2週間くらいなのでこの先はどうかかわからないですが。

➤ コロナ禍の影響

- コロナの時期に何でも諦めてしまうのが普通になってしまつて、やる気が出ないのだと思う。人と接するのも少し嫌になってしまったのだと思う。
- コロナ禍で大きな声を出さない、黙食、マスク生活、さまざまなイベントや行事の中止…自由が奪われた。発達障害児には順応できず…。
- 中学からなので、コロナ対策による分割登校や在宅期間なども大きいと思う。
- 次男は発達障害があり学校側は障害に対して理解がありましたが当時の担任は発達障害に対して理解がなく担任と折り合いが合わず不登校になりました。長男はコロナが原因で学校が休校したり学校再開したりとそんな環境の変化が原因で生活のリズムも崩れ不登校になりました。
- コロナ休校後から不登校が年々ひどくなった。行くときは一週間連続で行ったりしているので、特殊かもしれない。いじめもなく、友だちもいるので、登校した日は普通に友達と遊びに行ったりする。現在担任の先生よりソーシャルスクールワーカーに定期的に面談している。
- 新年度からのコロナ禍生活でのコミュニケーション不足。

➤ 家庭の経済状況

- 家庭の経済的金融を考えているからだと思います。
- 経済的な面で友人と、自分を比べて感傷的になってる。
- 集金未納があり行かたばに教頭先生方に言われ、子供達の上靴外靴を買ってあげられず、学

校用品のリコーダーや体操服習字道具も買ってあげられず、恥をかいてしまうから。

- 出費を抑えている分、友達と遊びに出かけることも減り友人関係が良好で無くなった様子。
- 物価高騰で光熱費等かなりかかりお小遣いあげられず友達と交流しづらいのかなと思います。
- 洋服が買えない。文房具の新しい物が買えない。朝起きられない。シングル家計だと貧乏だと思われいじめられる。
- 周りとの生活の差を気にして、引きこもりっぽくなったしまった。

➤ **その他**

- アルバイトでランチタイムも入ったり、夜も連日アルバイトのため朝起きられない。
- 進学により通学時間が往復3時間以上かかるようになったのと、バイトを始めて、いつも疲れている。
- 公営住宅から学校が遠く、朝起きられない為、遅刻がちになりそのまま学校へ行きづらくなった。
- 離婚にまつわる家庭問題。
- オンラインゲームに夢中で昼夜逆転してしまったため。
- わからないが、どんどんいけなくなった。
- 分からない。本人もよく登校できない理由が分からない。
- 聞きたいけど聞けないし、聞いても答えない。

表3 子どもが学校に行かなくなったことによる困りごとや不安
(自由回答、全303件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **学習の遅れやコミュニケーション能力への影響**

- 学習面の不安があります。
- 学力が伴わないこと。いくら自分で問題集に取り組んでも授業を受けてないから解けないし、親が教えようとする機嫌が悪くなり、口喧嘩になってしまい関係が悪くなる。
- 学力の低下が一番心配な事です。本人は不安がっている様子は無いようですが…幸いにもお友達関係はまだ特に問題無く仲良くしているお友達とは日曜日も遊んで貰っており、お友達が原因での不登校では無い為、どうすればちゃんと行くのか…悩んでおります。
- 勉強があまりできていない、内申点が見つからないため、進路が限られてしまう。対人関係があまりできていない。本人も自信がなく将来が不安。母子家庭だとお金も時間もかけられないので申し訳ない。
- 今後、勉強についていけるか？と不安ばかりですが子供のメンタルを中心に考えております。
- 私が毎日送り、登校をしぶりながらも学校に行けているけれど、不登校になってしまったら勉強が心配。塾に行かせられるようなお金がない。
- 学業の遅れ。友人関係の築きが出来てないのではないかと。学習できてないので小学校4年レベルで止まっているのでこの先の不安がすごい。そして本人が意欲がないのでどうにもならない事。子が滞在しているので日中の電気代。
- 集団生活はできなくなり人とかかわるのが怖くなっています 社会に出られるか心配はあります。
- 1日家に居て、他の人とのコミュニケーションがないので心配。

➤ **進学や進路への影響**

- 将来、高校、大学、専門学校と進学出来るか不安。

- ちゃんと卒業して進学できるのか、また進学しても授業についていけることが出来るのか。
- 授業単位が足りず高三だが退学になる。
- 高校卒業出来るか、不安です。専門学校合格し、学費も納めました、卒業出来なければ、学費が水の泡になるので。
- 通信科に変わりましたが、なかなか単位が取れず卒業できないまま成人となります。就職もできず短時間バイトのみ。いつ自立できるのか不安です。
- うつ症状があり通院している。子供の今の状況、今後の将来、進路。今の高校から通信制高校への転学を考えています。
- 高校への進路ですね。行きたかった高校、大学、職業に進めるか。いじめで学校に行けなかった事を考慮してくれるのか。頑張っ泣きながらいじめられながらも 2 学期行ってるのが辛くてそういうところも内申書に記載して欲しいです。
- 就職ができるのか不安。
- 進級できず、中退になる。社会に出たときに不利になる。学校を変えると、お金がかかりそうだが、払えない。
- 本人の将来が不安です。学校が嫌なら行かなくてよいという風潮ですが、それで後々困るのは子供本人です。外野は無責任なことを色々言うので苦しいです。

➤ 健康問題や生活リズムの乱れ

- 体を動かさなくなり、インスタント食品などを食べ太った。人と接するのが苦手になった。
- ずっと家において体力が落ちている、昼夜逆転になっている。私は 1 人の時間がなくて息苦しい。
- 昼夜逆転で、日中寝ないようにほぼ監視してる状態。それに昼ご飯を用意しなくてはいけな事。
- 過食とネット依存があり、2 年生の息子、昼夜逆転してるので入院する予定です。
- 昼夜逆転、ゲーム時間が増えている、寝ている時間が増えている、風呂に入らなくなった、歯磨きをしなくなった、勉強をしない、こだわりが強くなった、母親に対して反抗するようになった。

➤ 子どもの精神的な状態

- 私の仕事も減り収入がかなり少なくなった。子供が精神的に病んでしまい、約 10 ヶ月の間毎週、心療内科へ私が連れて行っているものの全くよくなる。
- 昼食代がかかる。死ぬと言って、カウンセリングも拒否しているので、どうすれば良いかわからない。
- 年齢的に本人に焦りがあるようで「死にたい」と言われ、入院も考えております。
- 適応障害になってしまったため学校に行くと体調を崩す事がある。
- 無事に卒業できるか。イライラしていて八つ当たりがキツイ。子どもが口にしないで子どもが言いたいことしたいことを理解しないと怒る。うまくいかないことを自分以外の人が悪いと言う。教えた礼儀や行動を話そうとすると無視される。とにかくすぐキレる。

➤ 子どもが日中一人で過ごすことへの不安

- 一人残して仕事にいかなければならない。
- 子供が家で 1 人の時間が増えるので防犯や何かあった時が凄く心配。長期間 1 人での時間が増えると本人の情緒が不安定になるので、私が仕事にも行けなくなってしまう。
- 以前、自殺未遂をしたことがあり私が家にはいない間が不安なのと、毎日お昼を用意しないと食

べないので私が体調回復したら働かなきゃとは思っているものの、本当に大丈夫かひとりにするのが不安。

- 何をしているかわからない。警察のお世話になるのでは?!と毎日不安です。
- 働く必要があっても、こどもの心身の安心安全の為、外出もままならなかった時もあるので、回復してきても、こどもがひとりぼっちにならない環境におけないこと。
- 無理やり行かせているので本人のメンタルケアをしてあげないとイケないが、働かないと生活ができない。1人で家に留守番ができれば良いが、特性ゆえにそれも難しく今後どうして良いのか分からない。

➤ **保護者の就労への影響**

- 1人で家に残せず、仕事に行けない。
- フルタイムで働けない、在宅ワークの求人が少なく、子育てしながらの仕事がみつからない。
- 資格を取得したらフルタイムで働く予定で、弁護士費用の返済があるため、実務経験が積めないと今後の収入に左右される。
- 結局パートしか出来ず収入増やせずローンが支払えない。勉強まで手が回らない。
- 母の仕事が制限されるため、収入が増えない。今後生活していけるのか不安。
- 食費がかかった。様子を見守るので資格取得予定をしていたができなかった。
- 仕事に行けない、やる気のない人扱いされて視線や言葉の温度がつかめたいと感じるようになった。

➤ **食費・光熱費等の増加、食事の準備**

- 食費が、かかってます。昼ごはんを家で食べるので。
- 光熱費や食費が増えました。仕事行く前に、娘のお昼ごはんを用意して行かないといけないうが大変です。
- 仕事は在宅で助かっていますが、食費や、光熱費がかなり上がります。去年の冬は支払いが大変になりました。冬が怖いです。
- お昼ご飯を作らないといけなし、その分食費が増えてしまう。

➤ **私立への転校や学校以外の学習にかかる費用の問題**

- 中学時代は校舎内に入れるかどうかもわからない送迎や学校との連絡などで、転職活動に支障が出ていましたが、通信制高校に入ってから学費の面だけが不安です。卒業させてあげたいですが、さらなる借入が必要となりそうです
- 通信制高校に通わせるお金がない。公立高校へ進学できないため、私立しか選択肢がなく、経済的に不安。
- 経済的にフリースクールや塾や私立の学校へ通わせるのが難しい。私は仕事に出ているので平日は1人で家に居る子供を見ることができない。子供から「調子悪いから休む」とラインがきて、そのまま私が学校へ欠席連絡するだけで体調も心境も子供任せになっていて良い方向に変わらない。

➤ **その他**

- 担任、学校側の不登校への生徒の対応、または不登校になりそうな生徒への対応が充分ではない。完璧をこちらも求めてないが、対峙するのではなく寄り添って欲しい。
- みんなと同じことができないことに本人が悩んでいる。学校側からは、支援という名のお小言があるので、それに電話や来訪で時間を取られることで生活に少なからず影響がでる。

- ご飯を取れるかも心配ですし、学校や区等私だけ事情ばかり聞かれてもう同じことを繰り返し伝えられている。ただ子供が家から出ない状態ですので、何も改善されません。最初の頃は仕事を休んで付き合っていました、こっちが精神的にやられて、今通院中です。
- 貧困ほど学力の遅れがあると言われ、辛い言葉ですがハッと気付き、悲しいですがその通りだと実感しています。担任から母子家庭を馬鹿にされ、子供が辛い思いをしていたようで、仕事優先だったため子供を無理やり毎朝学校に引きずって登校させていたのですが、子供の気持ちに気付くことができなかつた時期がありました。母子家庭で仕事を減らしたり休むことができず、先生に傷つけられ続けて児童精神科通いになってしまってから学校での出来事が判明したため、仕事優先のために無理やり毎朝学校に子供を放り込んでいたことを後悔しています。

表 4 あつたらよいと思う不登校の子どもへの支援
(自由回答、全 279 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **フリースクール等の多様な居場所**

- フリースクールが高すぎるので、無料や安価なフリースクールがあれば、子どもも通うことができます。
- 家からは近い場所に無料のフリースクールがあればうれしいです。
- 子供の居場所がもっとあつたら良いと思います。公民館のような勉強ができる自習室のようなスペースが近くにあればいいなと思います。勉強の不安もあるので、通信制のような中学校など普通に通えない子供のための学校も公立であつたら良いのになと思います。
- 社会につながるような家庭や学校とはちがう別な居場所。学びの場や交流の場。
- 無料で勉強を教えてくれる場所を毎日あれば良いと思う。
- 子供が家の外に出たいと思えるような、子供たち同士で集まれる場所、楽しそうなイベントなどの参加。
- 発達障がいがあつてもフリースクールや学校や教育委員会の不登校学習支援教室が利用出来るようになればいいなと思う。もっと国や市からの支援・援助をしていただければ増えるのではないかなと思います。
- 県立で学年が変わらず転校できるような制度が欲しい。高校卒業の資格が貰えるフリースクールが近くにあつたら良かったと思います。
- 起立性調節障害は朝から日中は起き上がれないが夕方からは元気になるため、子供はいつも「夜間の中学校に行きたい！」と言います。働く私も夜のほうが子供を送迎したり一緒に行動できるので午後からの中学校や夜間の中学校は本当に欲しいです。
- 息子は年齢的に義務教育では無いのですが、友達にも仕事をクビになつたり居場所の無い子がいると聞きました。年齢制限等せず誰でも集える、今のご時世を生き抜く力をつけてもらえるような術を学べる場所があつたらと思います。

➤ **学校以外の居場所や学習のための経済的支援**

- 有料スクールの補助があれば選択が広がるかもしれません。
- ひとり親にはフリースクールは高くても行かせることが出来ない、補助があればとおもいます。
- 私の地域は無料のフリースクールがありません。義務教育、義務教育と言うならばフリースクールも就学援助が使えるようになればひとり親は助かります。
- 昼食代の支援や、フリースクールに通う際の授業料・交通費などの支援。
- 塾が高くて通わせてあげられませんでした。学校で授業を受けていないので、塾に少し通わせ

ていましたが、塾代が高くて、母子家庭なので生活がきつくなり、続けさせてあげることができませんでした。学校に相談し、週に2日だけ学校の別室へ行き、3時間目と4時間目だけ自主学習をしています。別室では勉強の指導はないので、学力が心配です。塾費用の助成があると嬉しいです。

- オンライン塾など欲を言えば無料か低所得の世帯は減免してもらえると助かります。勉強面が心配で調べたところオンライン塾がある事を知りましたが日々の生活でもマイナスなのでさせてあげる事ができない。
- 塾や問題集購入の補助が欲しい。
- 私立の通信サポート高に転入予定ですが学費がとてもかかり不安です。補助支援があれば助かります。
- 通信制高校の学費援助を全日制高校と同様にしてほしい。

➤ オンライン授業など自宅で学習できる環境

- オンラインでの授業で出席としてほしい。
- 不登校のための家庭学習。オンラインでも授業に参加出来るシステム。
- 学校に登校出来なくてもオンライン（アーカイブ）など自分のペースでやれるものがあればいいかな。
- 1人1台タブレットがあるんだから、授業中カメラを繋いでオンラインにしてほしい。不登校の子が通う特別教室が学校にはあるけど、みんな遊んでいてうるさいようで勉強ができない。担任は何もしてくれない。
- タブレット等々での学習や、分からないところを聞ける環境があると助かります。
- 家庭教師など勉強を教えてくれる支援があったら嬉しい。仕事の都合で送迎が難しいため。

➤ 学校側の対策や体制の充実

- 学校で別室で対応してほしい。
- 学校の先生がもっと不登校児に対しての対応を学んでほしい。
- 学校以外の居場所を作る動きは増えているが、学校自体の考え方ややり方は、変わっていない。不登校の生徒、保護者の声を聞いて、誰もが安心して通える学校作りを目指してほしい。学校そのものを変えなくてはいけないと思う。好きで不登校になっているわけではありません。たくさん傷付いた結果です。
- 学校長、担任、心理士、サポーターの連携をしっかりとしてほしい。昨昨年度から相談しているのに、結局私が家に居ないと解決しなかった。

➤ その他

- お昼を届けてくれたり、時々様子を見てくれる（安全確認で。）
- 就学援助を受けていても、不登校だと給食費が支給されないが、自宅での昼食代として支給してほしい。フリースクールの費用を出してほしい。
- 相談しやすい窓口支援。
- 正直わかりません。子供と親の心のケア的な事があると心強いと思います。
- 第三者が自宅に来る支援。スクールカウンセラーなどはこちらから赴くものばかりで、下に妹弟がいたり、そもそも本人にカウンセリング意欲がないと、利用すらできない。
- 学校との面談に同行してくださる。ひとり親のサポーター。スクールカウンセラーは学校と家庭側の中立というのが実際は学校長からの承認で任期が決まるシステムなので、仕事を失いたくなければ学校側にとって都合の良い人になるでしょう。子供とひとり親のサポーターとし

ての面談支援員

- 学校に通えなくなった人などが悪いと言う風潮を無くしたい。
- 不登校に対してというより、社会全体がもう少しやさしいやわらかなものであってほしい。ギスギスしている。
- 通学にあたって送迎があると安心して行かせられる。
- 親の対応の仕方を教えて欲しいので、そういう支援。

4.5 保護者の就労と収入

4.5.1 現在の雇用形態と収入の変化、収入増加に向けた課題

回答者の現在の雇用形態は、「パート、アルバイト」(43%)が約4割と最も多く、「契約社員(嘱託・臨時)」(7%)、「派遣社員」(4%)と合わせると非正規雇用は半数を超える。これに対し、「正社員(正職員)」(21%)との回答は約2割となっている。無職は全体の18%である(「無職(求職中)」(6%)と「無職(働けないなど)」(12%)の合計)。

現在働いている回答者を対象に、2022年と比較した2023年の年収の変化について尋ねた結果、「増える」(9%)との回答は1割程度であった。これに対し、「変わらない」は57%、「減る」は34%となっている。雇用形態別にみると、「増える」との回答は、「正社員(正職員)」で14%、「非正規雇用」で7%であり、「減る」は「正社員(正職員)」で28%、「非正規雇用」で36%となっている。収入を増やす上での課題では、「子育て・介護等のため、これ以上働けないから」(48%)、「より報酬の高い仕事に求められる経験・資格等がないから」(47%)を挙げる回答者が多く、いずれも半数近くに達した。「児童扶養手当の受給対象から外れるから」(17%)、「住民税非課税の対象世帯から外れるから」(13%)といった、公的支援を受けるための所得制限を気にしている回答者も一定程度存在する。

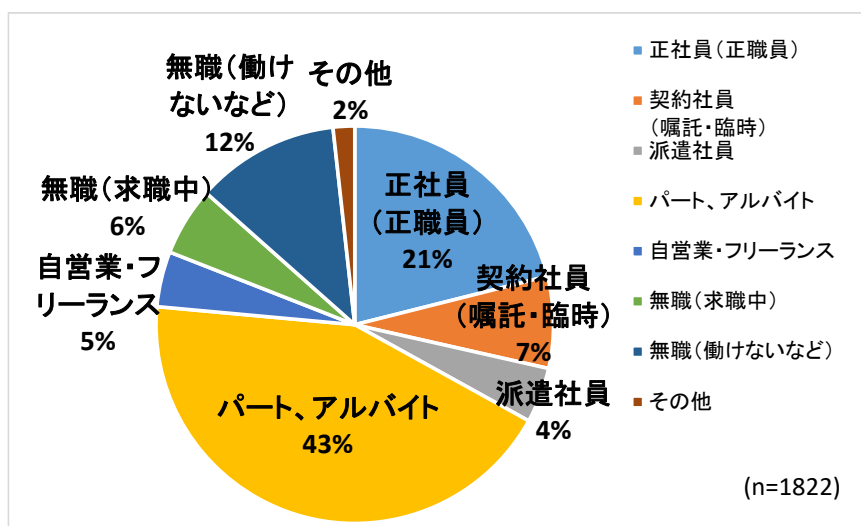


図 22 現在の雇用形態

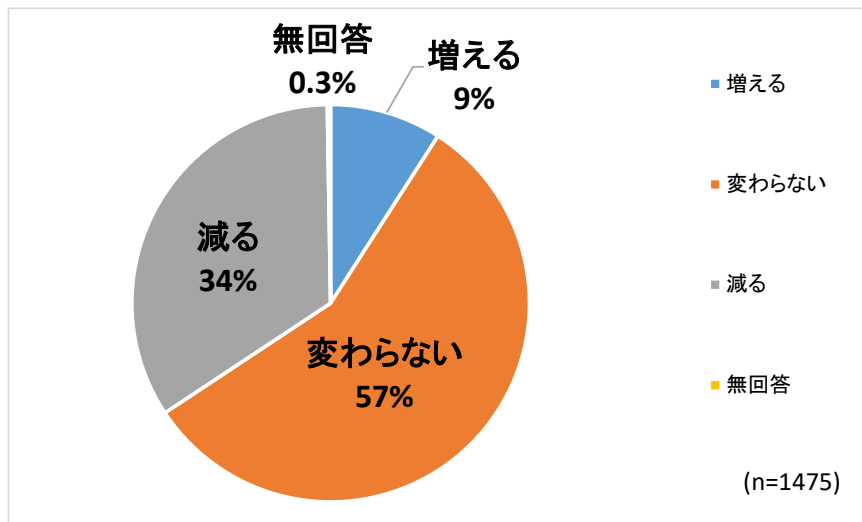


図 23 2022年と比較した2023年の年収の変化⁸

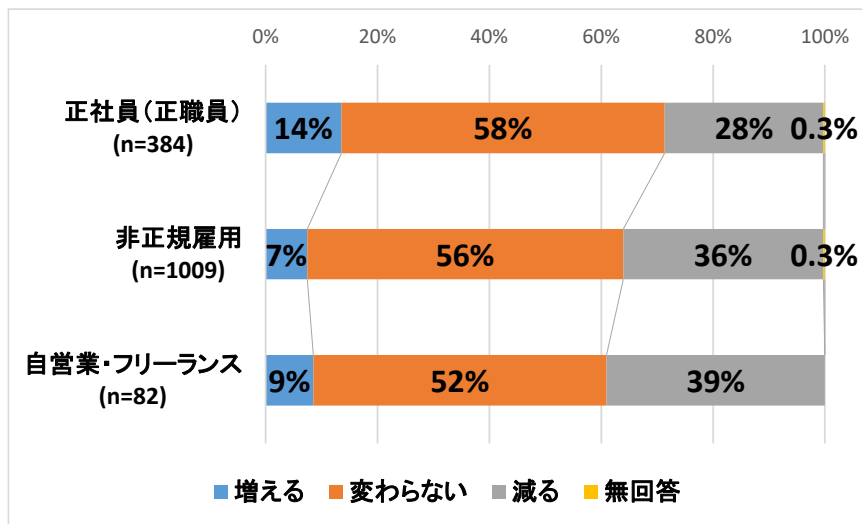


図 24 【雇用形態別】2022年と比較した2023年の年収の変化⁹

⁸ 現在の雇用形態として、「正社員（正職員）」、「契約社員（嘱託・臨時）」、「派遣社員」、「パート、アルバイト」、「自営業・フリーランス」のいずれかと回答した方が対象。

⁹ 非正規雇用は、「契約社員（嘱託・臨時）」、「派遣社員」、「パート、アルバイト」の合計。

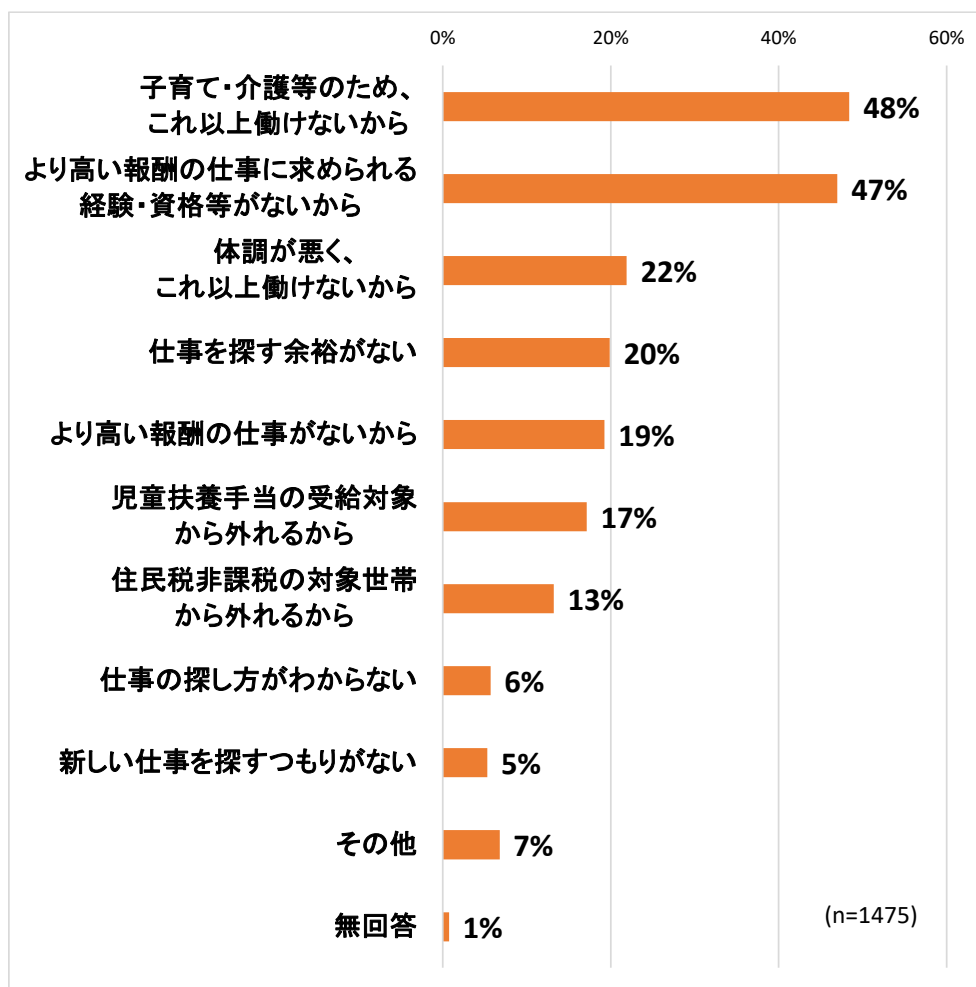


図 25 収入を増やす上での課題（複数回答）¹⁰

4.5.2 収入増加のためにほしい支援

収入を増やすためにほしい支援を自由記述で尋ねたところ、多くの回答者が子育てしながら働くための支援を挙げた。まず、子どもの預かりとして、遅い時間帯や土日、学童を卒業した年齢の子ども、不登校の子ども、病気の子どものなど、通常では預かってもらえないケースでも対応してくれる場所・サービスが求められている。また、子どもが病気になった時などの休みに対する経済的な支援、職場の理解や労働時間など子育て中でも働きやすい職場環境や制度を求める声も多い。

資格取得やスキルアップの支援も同じように多く挙げられた。PCスキルや英語をはじめ幅広い資格について取得のための費用の支援、働きながらでもできる資格取得サポート、資格取得に専念できるような生活保障などが必要との意見が寄せられている。働いて収入を増やすという観点では、資格取得やスキルアップの他に、賃上げ、正規雇用、在宅ワークや副業等をするための支援がほしいとの声も見られた。

児童扶養手当に関しては、所得制限の引上げを求める声が多く、物価高騰に見合っていない、児童扶養手当の対象外となると他の支援も受けられない、所得制限があることで働いてもマイナスになってしまうといった訴えがあった。また、第2子以降の加算など支給額の増額、18歳以上への対象拡大を望む回答も見られた。なお、児童扶養手当以外に、住民税非課税等についても、同様に所得制限の見直しを求め

¹⁰ 現在の雇用形態として、「正社員（正職員）」、「契約社員（嘱託・臨時）」、「派遣社員」、「パート、アルバイト」、「自営業・フリーランス」のいずれかと回答した方が対象。

る回答が寄せられている。

多くの回答者が何らかの支援を挙げる中で、これ以上の収入増を考えていないという意見もあった。今の仕事・家事・子育てで精一杯、体力の限界、ただ目の前の生活に追われるなど、困窮から抜け出すためのアクションを考えることすら難しい保護者がいることが伺える。

表 5 収入を増やすためにほしい支援
(自由回答、全 1,030 件、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **子どもの預かり場所・サービス**

- 子供を安心して預けられる無料の支援。
- いつもの保育園が日祝保育もやってくれる。
- 学童保育を土曜日や祝日もやって欲しい。
- 小学校の学童保育の預り時間を朝夕共にもっと延長してほしいです。特に朝は 8 時以降出ないと登校不可のため、二人親家庭ですら皆困っています。残業が出来ない、始業に間に合わないため時短勤務にせざるを得ない等、共働きが当たり前の時代に合わない預り時間だと思えます。
- 学童を卒業した小 5 がいます。まだひとりではできることも限られ、大人の手助けが必要です。こういった、保育園や学童対象からはずれた年齢だけど、まだ支援が必要不可欠な狭間年齢の子の支援、居場所、食事処などがほしい。区の制度は非現実的で到底使えないものばかり。全くあてになりません。期待もしていません。
- 不登校の子供の居場所があれば、今より収入を増やすために仕事を増やせると思います。子供の居場所の支援がほしいです。
- 軽度の障害を持っている子どもを預かってくれる場所。
- 病児保育の拡充。子供が小さくよく熱を出すので、仕事を休まざるをえない。
- 区の病児保育を充実して欲しい。制度としてはあるものの空きがないです。民間企業で病児保育はありますが利用するにしても高額で利用できません。

➤ **子どもに関する休暇への対応**

- ひとり親だと、子供が体調が悪くなった時に休むと給料が減るので、我慢させて学校に行かせてしまった事があります。休んでも給料が保証される支援があるといいと思います。
- インフルエンザなど感染症にかかると約 1 週間は仕事を休み、他にも学校行事などでお休みすることがあります。兄弟、親と感染するとさらに期間が伸びることもあります。有給休暇はすぐになくなり結果欠勤になったり子どもに我慢をさせて親は仕事に行かざるを得ない状況が多々あります。1 馬力だと家計に大打撃です。子どもが病気で休まないといけない時は何か手当があると助かるなと思いました。
- 子供が熱や咳、嘔吐などで仕事を休まないと行けない時、早退して迎えに行かないといけない時は給料が減ってしまうのでその支援があったらいいなと思います。病児保育は利用するのに手続きが大変だし、病気の際は側にいてあげたい気持ちもあるので。
- 子供の授業参観や PTA 活動等の学校行事が多かったり、子供の体調不良時に看病する為、それだけで毎年有給休暇を消化してしまったり、足りなくて欠勤扱いになり収入が減ってしまうので、何か支援があると助かります。

➤ **子育てと両立しやすい職場環境や制度**

- 子供がいても、休める、働きやすい環境（子供が小さいと、欠勤することを想定して面接の時点で嫌な顔される）。

- うまく説明できないのですが、子供の事での急なお休みや早退時に職場や同僚に迷惑かけない、親自身が気まずくないシステム。
- 会社でも母子家庭を理解する世の中になるような動き。
- 支援かどうかは分かりませんが、規定の労働時間が短くなってほしいです。8時間を週5日が規定になっている事がほとんどで、さらに医療職という仕事柄、早朝や夜間になりがちなのも正社員に戻れない要因の一つです。時短も使えないですし、6時間労働くらいが当たり前になってほしいです。
- 正社員で時短勤務ができる仕事が増えてほしいです。どうしてもまだ長い時間は働けないので、正社員になることができません。そのため収入を増やすことができないでいます。
- 雇用バランス、環境を整えて欲しい。働きたいが、子どもとの時間や学校行事に費やす時間も確保しようとすると、どうしても収入のために仕事を詰めざるをえず、子どもとの時間が極端に減ってしまう。
- 発達障害児二人居て身寄りの無い我が家のような状況の人でも受け入れてくれる会社が必要、障害児で協力者も居ない家庭でも就労出来るような支援制度や体制、賃金補償の制度が必要。

➤ 家事・育児のサポート

- とにかく時間が足りない。家事のサポートをしてほしい。
- 子どもがまだ小さくて手がかかるので、子育てサポートがあれば助かる。
- 子供の習い事など送迎していただけたら、もっと遅い時間まで働けます。資格を取るため勉強を始めましたが、仕事が忙しく、夜は一気に家事をしなくてはいけないので勉強がすすみません。睡眠時間も短めにとっていますが時間が足りません。家事代行が安く使用できればいいのかもしれませんが、料金がかかるならやはり使用しないかもしれません。今何が必要なかがわからない状態です。

➤ 資格取得やスキルアップ支援

- 今はパソコンが使えないとなかなかいい仕事もないためパソコン支援とパソコンを教えられる支援が欲しいです。
- 英語を無料で学べる制度。
- 資格取得費用サポート。ケアマネ受験料。
- 簿記の資格や看護師資格の勉強会がリモートであったらありがたいです。
- 監査法人で働いており、会計士の資格を取るために、勉強したいので、学費を支援してほしいです。
- 国家資格を取るための母子家庭支援はありますが、国家資格以外にも、就職するための資格取得サポート支援(講座や受験料の助成など)があると嬉しいです。
- 仕事を選ばなければ年収の高い職種へ転職できるかなと思うのですが、人にうまく話すことができないので営業は難しいかもしれない、それならいまのところで不満はあるけど働き続けるのが一番いいのかもしれないと思うとなかなか尻込みしてしまいます。自信が持てるように、就職支援として話し方の講座などがあるといいなと思います。
- デジタル化が進んで、現在派遣でしているような単純な事務仕事は無くなると不安に感じます。子どもを育て上げる60歳まで正社員で入社出来るような強みが欲しいです。
- 資格がとれたら少しは違うと思います。ただ資格をとるためにお金がかかります。市などで援助していただけるのは承知ですが、あとの少しを払うことはやはり出来ません。無料に近い金額で挑戦出来たら嬉しいです。

- 資格を低所得の人は無料で取れるように支援して欲しいです。
- 資格取得しながら働ける環境がほしい。
- 働きながら、学びたい。ただし、私のように、土日勤務あり、9時まで勤務あり、の人も通える学校。今まで、条件に合うものが無かった。
- キャリアアップのための、資格取得の講習会や講座実施。それにかかる費用の補助や無料化。仕事時間帯では無い時間や曜日での実施など。
- 資格取得が出来る支援が現在もハローワークなどであるのでインターネットサイトを見たことがあるが、よくわからなかった。働きながら利用できるのかよくわからない。支援内容の周知がもっと進むといい。
- 資格を取るにあたって生活の保証。失業手当の金額では生活出来ないので体調不良以外にそこがネックになっています。
- 無料で資格取得できる支援。学びの期間に生活費の援助があれば嬉しいです。
- 家賃支援。欲しいと思っている資格は、日中通学が2~3年必須。パートを辞めなければ通学も勉強も出来ない。しかしパートを辞めて無収入になると住む場所が無くなり通学が出来ない。よって欲しいと思っている資格を学ぶ事は今後も出来ない。
- 家賃補助。転職ために収入が減ったとしても資格取得に充てられる(フルタイムで資格の学校に行き収入アップを狙うのは生活にかなり影響が出る)。
- 子育て・働きながらの資格取得が難しいと考えてしまう。資格を取得後、仕事に就けるかの不安しかない為前向きに考えられない。不安や疑問を取り除けるような支援が欲しい。
- 資格があれば今より稼げる可能性があると思います。資格習得後から何%か戻ってくる支援はあるが、先に払うお金がないので受ける事が出来ない。高校無償化の支援も同じで先に学費が払えないので借金するしかないです。後からではなく先に支援があれば資格も取る人が多いと思います。

➤ 賃上げ

- シンプルに昇給。仕事の質は上げろといい量は増やすが、その分の昇給しない。
- 今の仕事は、時間に自由があり、不登校の子どもがいる私からするととても働きやすいですが、収入は手取りで6万ほどです。もう少しベースアップがあればいいなと思います。
- 介護職なので、賃金をもっとあげてほしい。
- 保育士をしているが国家資格でありながらも給料は学生バイトより賃金が安い。保育士の給料改善があったらいいなと思う。
- 最低賃金で働いているため最低賃金を上げてほしいです。
- 派遣労働者の単価をあげてほしい。
- 子育てしているひとり親に対してたまにある給付金ではなく毎月の給与に子育て手当のような形で正社員の場合は1人あたり3万円や5万円などパートの場合は1人あたり1万円など働く時間などに比例して給与に上乘せする形で支援をしてほしいです。

➤ 正規雇用

- 子供がいる年齢が高い時点で求人がパートに狭まる。
- 今の職場は非常勤かアルバイトの求人しかありません。正社員になれる制度があればと思います。
- 派遣で3年働いたら終了ではなく、部署から求められる人材であれば、そのまま正社員になれるよう、企業に行政から働きかけをしてほしい。
- WEBやラインなどで正社員雇用の紹介。

- 障がい者でも正社員になりやすくなれるように、社会に認めて欲しい。

➤ **在宅ワーク、副業**

- 自宅でも出来る仕事があると家の事をしながら、子供の事をやりながら、体調を見ながら仕事ができる。
- 自宅で子どもを見ながらできる仕事が欲しいです。障害児がいて、他の兄妹達のケアもあり、なかなか働きに出るのが大変な時があります。
- 私の場合は体力的な問題があるので家で出来る内職のようなものを紹介して欲しい（ネット等で出ているが、怪しくて手が出ません）。
- 副業のような在宅でできる仕事の紹介があればしてほしいです。
- 副業が簡単にできると良いと昔から思ってます。本業と別に希望日だけ雇ってくださるところがあっても、税金や年末調整などの事務的なことがわからないので、今もフルに働いてますが、日曜だけとか働いて収入を増やしたいと思ってます。
- 本来であればもっと収入を増やすために転職が一番かもしれないが、今の仕事もやりがいを持ってやっているため簡単にはやめるのは惜しく、ダブルワークも考えるが、会社側の規定でダブルワークは禁止されているので、そこをもう少し柔軟にできる社会になってほしい。仕事が休みの日に単発の仕事を1日行けるだけでも生活が変わってくると思う。

➤ **児童扶養手当の所得制限・支給額等の見直し**

- 児童扶養手当の所得制限の金額をあげてほしいです。物価や最低賃金があがっているのに所得制限の金額は変化がないのでしんどいです
- 児童扶養手当の一部支給の所得制限をあげてほしい。現在勤めている会社は昨今の賃金アップの流れにのり、若干去年より収入が増えました。しかし、それ以上に物価があがり、税金も社会保険も上がり、結局手取りは減りました。しかし所得が数万増えたおかげで児童扶養手当も減りました。来年同じ状況だと対象から外れるかもしれません。子供2人、大学まで入れるのは本当に厳しいです。異次元の子育て支援なら、児童扶養手当の所得制限も検討してほしいです。
- 児童扶養手当の受給対象を拡大して欲しい。せっかく収入が増えても、児童扶養手当以上の稼ぎがないとマイナスになってしまいます。650万円くらいまで支援が欲しいです。
- 児童扶養手当の所得制限の緩和。困窮を少しでも改善しようと働くと、児童扶養手当減額、税金増額。近年の物価高騰、増税も重なり、厳しい生活からなかなか抜け出せない。非課税世帯の支援ばかりではなく、納税している生活困窮のひとり親にも支援があれば有難いです。
- 児童扶養手当の所得制限の緩和をしたら、もっと頑張って働いてキャリアアップしたり自立する女性が増えると思う。
- 児童扶養手当の所得制限を緩和してほしい。医療費の補助など手当を貰えなくなったら無くなってしまいうので収入を制限したほうがよいかと考えてしまう。
- 収入が増えると児童扶養手当が貰えないや税金が上がる、色々な支援を受けられなくなるので収入が増えても金銭的な支援を変えないようにしてほしい。
- 児童扶養の金額をあげてほしい。
- 児童扶養手当、2人目、3人目を増額してほしい。
- 児童扶養手当の拡充。3人目が満額加算でも6000円じゃこの物価高、乗り切れません
- 児童扶養手当の減額の所得制限の緩和。18歳になる3月までではなく18歳の間は支給（早生まれは支給金額が減る）。
- 子どもが大学生でも児童扶養手当を支給していただきたいです。子どもが義務教育、高校時代

よりもとても生活が厳しいです。

➤ **住民税非課税やその他支援の所得制限引上げ**

- 収入を増やすために住民税非課税の範囲を広げてほしい。結局そこが限度額になり、それ以上は働きたくても働けない。なぜなら子供が大学生と専門学校生で授業料の補助を受けているから。
- 非課税の枠からでるといきなり手当や支援がなくなる。徐々になくなるようになるとありがたい。
- 残業が多い職場で、いつも帰りが遅くなり、子どもとの時間を犠牲にしてきました。とは言え、残業代で生活が助かったりもしていました。残業代で、ギリギリのラインの受給対象から外れたりもします。ワークライフバランスが難しく、境界線の所得にも支援があったら、と思います。
- 契約一年更新できて結果的に長く働けた。が、300円の所得税のために非課税の対象世帯から外れ、高校生等奨学給付金の対象外になった。児童扶養手当も減額になり、生活がより苦しくなった。来年は大学受験の年なので貯蓄額はキープしたいので、食料支援などで補いたいが思うように得られない。月一くらいで支援してほしい。
- たくさん稼ぎたくとも、公営住宅に入っていると退去させられてしまう。お金は欲しいけれどジレンマです。

➤ **これ以上の収入増を考えていない**

- 今は、今の仕事・家事・子育てで精一杯です。現在、今より収入を増やせる方法は思いつきません。
- 今は1番下の子が小学生なので、飲食業のランチタイムのみ働いています。収入は増やしたいと思うこともありますが、個人店なので、時給が上がるわけでもなく、首のヘルニアのため、フルでも、今は働けないため、特に収入を増やすための支援などは考えていません。
- 収入を増やす為にスキルアップし、高収入の仕事を探すのが収入アップの為に良いとは分かるが、1人で仕事、家事、育児をこなさなければならず、体力気力的に（年齢的にも）限界がある。
- 正直、諦めています。子育てと仕事の両立で体力も限界です。
- ただ目の前の生活に追われて生活をしてきて子供が大きくなれば自分も歳を取るそしてキャリアや資格などを積む事なく時間を過ごしてきた事に後悔しています。今の現状だけで無く自分の老後も考えられる生活設計が出来ていません。

➤ **その他**

- シングルマザーを雇用してくれる会社の求人だけが分かると助かる。
- パートで可能な限り稼ごうと思ったら時間を伸ばすしかないが、そこからどうやって仕事を探して良いか調べる場所も閉まっているため、探しかたがわからない。夕方以降や土日祝に支援してくれる場所があるといい。
- 親の介護に対する助成やサービスがあれば助かります。
- まずは養育費を確実に受けとれる制度の安心があったうえで次の職探しに繋がると思います！
- 転職に苦労しましたが今月から正職員として採用されました。ただ、新卒と変わらない給与のため、生活は厳しくなります。欧米のように、経験で給与が上がる企業体質に日本もなっほしいです。ベーシックインカム制度。

- 消費税廃止、社会保険料減額。
- 子供がいる家庭に特別手当などがあつたら嬉しいです。
- 投資についての講座。
- 以前の職場で精神的に追い詰められ退職した経験があり、その後は薬を飲みながら仕事をしている（職場には言えない）。ほんの少しでいいので話を聞いて貰える所です。

4.6 子どもや家庭生活に関する政府の取組みについて

賃上げや子どもの貧困に対する政府の取組みについて、いずれも9割超の回答者が、その効果を実感できていないと回答した（賃上げ政策の効果を「実感できていない」96%、子どもの貧困対策の効果を「実感できていない」95%）。

また、2023年4月に発足したこども家庭庁について、その施策を「知っている」（17%）と回答したのは約2割に止まった。こども家庭庁ができたことで子育てがしやすくなると思うかとの問いに対しては、否定的な回答が約6割を占めた（「そう思わない」（22%）と「全くそう思わない」（39%）の合計）。「どちらともいえない」との回答は35%、「とてもそう思う」と「そう思う」は合わせても数%程度に止まった。

「どちらともいえない」や否定的な回答をした理由として、本当に必要としているものを分かっていない、より低年齢の子どもへの支援のように感じる、支援が届かない世帯もあるといった声が寄せられた。

マイナンバーについては、約8割が「持っている」（84%）と回答した。「持っていない」（16%）とした回答者がマイナンバーカードを持っていない理由として最も多く挙げられたのは、「色々な情報を国に知られることがいや」（27%）であった。

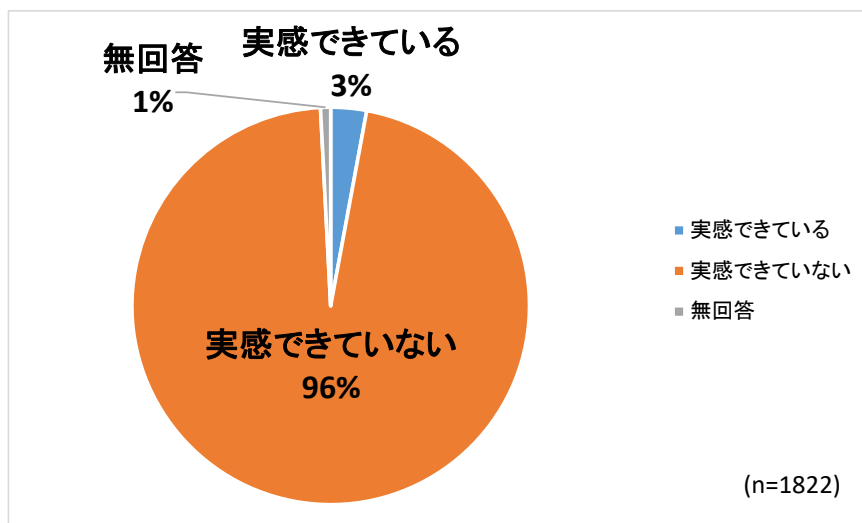


図 26 賃上げ政策の効果

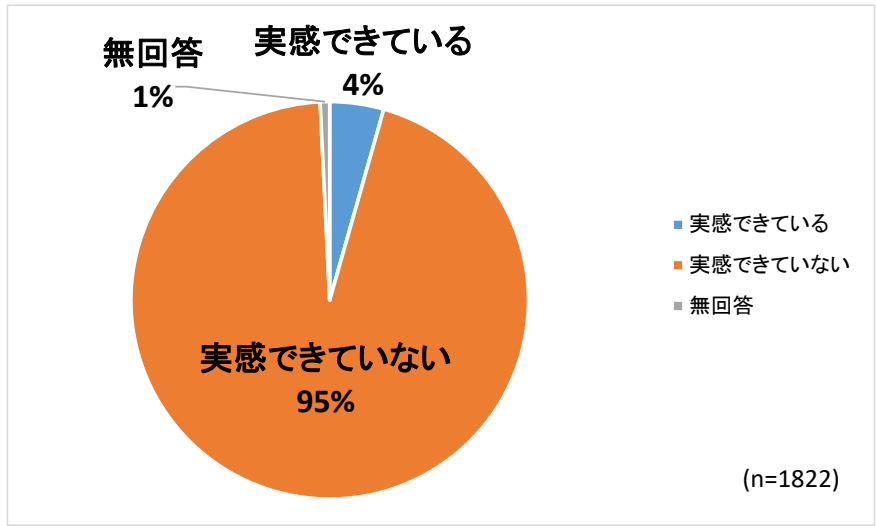


図 27 政府の子どもの貧困対策の効果

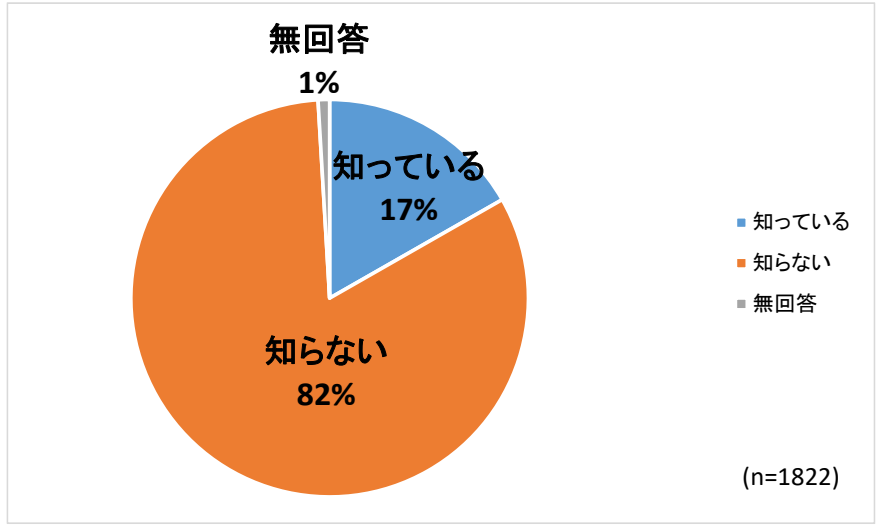


図 28 こども家庭庁の施策の認知度

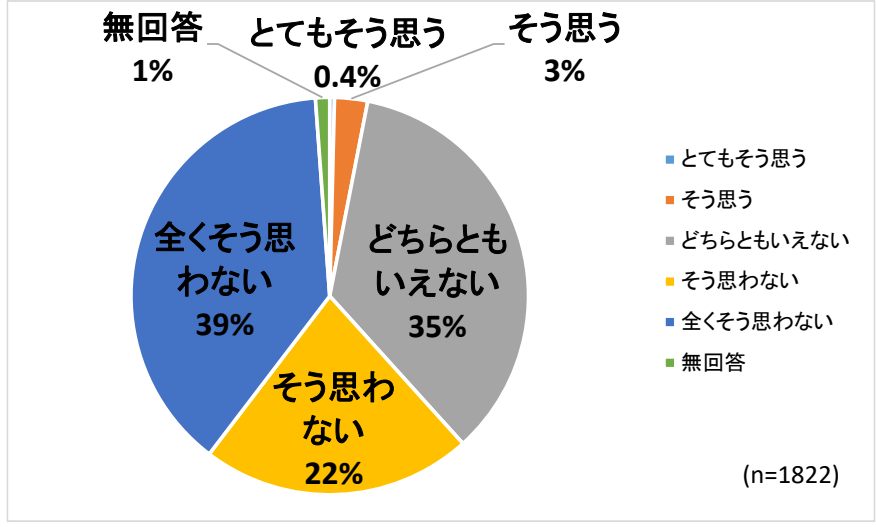


図 29 こども家庭庁発足により子育てがしやすくなると思うか

表 6 子育てがしやすくなると思う/思わないと回答した理由
(自由回答、全 1,223 件、一部抜粋・引用者にて編集)

- 「とても思う」・「思う」の回答理由
- いままで、文科省、厚労省とで分かれていた子ども関連の案内が、一つになったようで、わかりやすくなった気がします。
 - こどもたちの成長のために新たな政策をとってくれることを願います。
 - こどもファーストで取り組もうとしている姿勢は見られるため。
 - 以前より小さい子供がいる家庭の手当が増えてきたから。
 - 今までよりは子供のことが話題には上がっているので、話題に上がるだけまだいい気がする。ただ、政策がチグハグな気がする。
 - 専門の庁が出来たことで、当事者の意見が届きやすくなると思うから。
- 「どちらともいえない」の回答理由
- 「こども家庭庁」という名前のものを新たに作っただけで、実際の政策の中身が伴ってくるのにはかなり長い年月がかかると思う。
 - ある程度収入がある世帯は子育てしやすくなるかもしれないが、元々収入が少ない世帯はそれほど変わらないと思う。
 - こども家庭庁がどんな政策をしているのか知らないから。
 - もちろん期待する気持ちもありますが、今まで政府は方向性が違うと思われる政策が多いため心配です。また、子どもにとってよい政策であっても、子育てが終わった人や子どもを持たない人などのうち不満を持つ人々からの攻撃が怖いと思うので子育て自体がしやすくなるかはわかりません。
 - こども家庭庁が出来ても 非正規雇用の改善対策などして頂かないと何も始まらないと考えてます。
 - 支援される世帯は良くなると思うが、支援が届かない世帯もある。
- 「そう思わない」・「全くそう思わない」の回答理由
- こども家庭庁が設立されたことを知らなかった。
 - いつもいっているだけ。政策が実施される頃には子育ては終わっている。
 - こどもの人権を管轄する省庁が3つにまたがり、連携されていないため。
 - 子育て世代が本当に困っていて、必要としているものが全く分かっていないから。子育ての本質が分かっていない。
 - 支援をしている様に発言しているが、本当に必要な支援とはずれている。貧困世帯が必要としている支援をしていない。
 - 健常児向けの支援しかない。
 - 今から産まれてくる子達は助かるだろうが、ある程度大きい子には恩恵がない。年の差兄弟なので3子が月3万になる児童手当も1年しか貰えない。
 - 子育ては小さいときはそんなにお金がかかりませんが、大きくなるにつれてどんどんかかるので、子育てを終えるまでの支援をしっかりしてほしい。そこをしないから、みんな将来が不安で子どもを産めなくなっています。
 - 小さい子供ばかり、医療費や支援、給付があるが大学や専門学生の子を持つ親の負担は軽減されず差別的に感じる。
 - 小さな子どものいる家庭や子どもの多い家庭、普通に生活ができる家庭しか守られていないと感じる。

- 困窮家庭への支援は何ら以前と変わらない。一番お金がかかると思われる小学生～高校生世代の支援が手薄過ぎる。

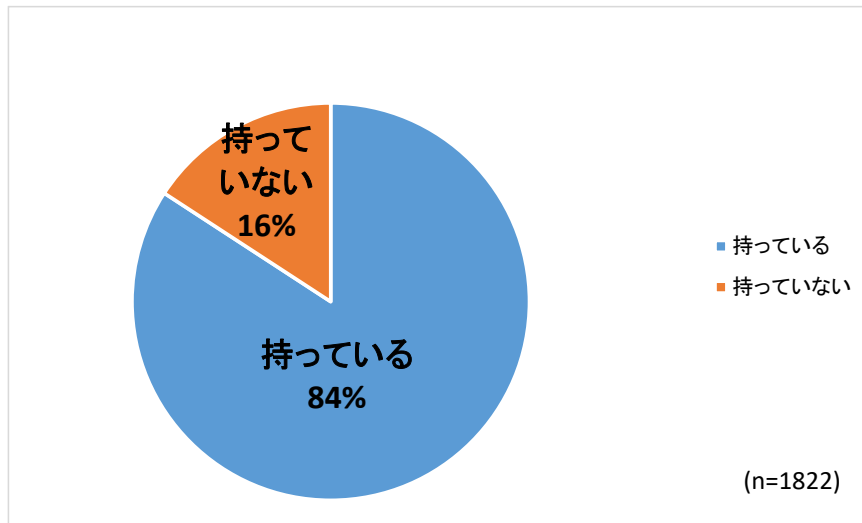


図 30 マイナンバーカードの保有状況

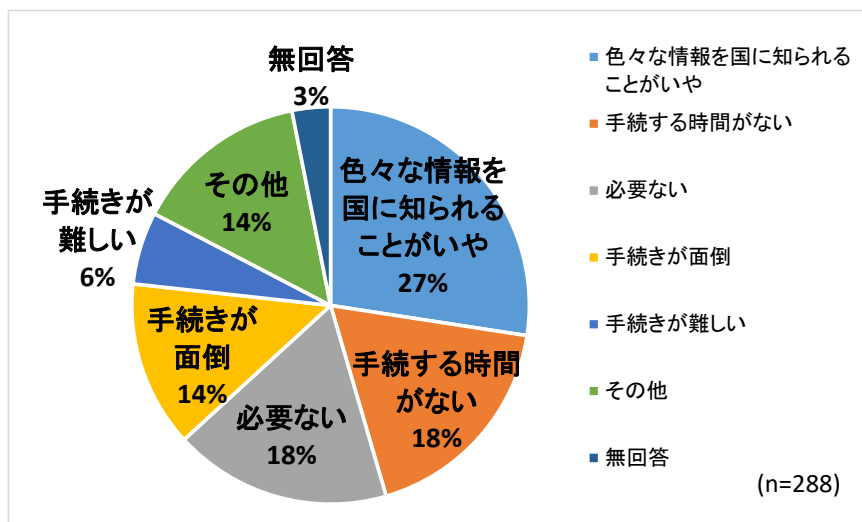


図 31 マイナンバーカードを持っていない理由（最も当てはまるもの）¹¹

4.7 現在困っていることや支援がほしいこと

現在困っていることや支援がほしいことには、全 1,308 件の自由回答が寄せられた。食料や日用品に加え、これから寒くなる中で高くなる光熱費について、困っている、支援が必要との声が多く見られた。また、住宅費が家計を圧迫しているほか、今やライフラインとも言える PC やスマホ、インターネット等のデジタル環境についても経済的な理由から不十分な状況にあるとの回答があった。物価高騰を受けて家計が厳しくなる中で、借入に苦しんでいるとの声、現金給付を希望する声も多く寄せられている。

子どもの教育については、授業料だけでなく学用品や学校行事の費用、大学受験や進学費用などが重くのしかかっており、無償化や給付型奨学金の拡大などが求められている。また、奨学金など、支援があっ

¹¹ マイナンバーカードを「持っていない」と回答した方が対象。

でも実際に費用を支払ってから支給されることが課題と伝える回答もあった。部活動や塾・習い事でも、お金がないために子どもの希望通りにさせられない状況が伝わってくる。食費や光熱費の高騰で習い事を辞めることにした、プログラミングが大好きだがPCを用意できず意欲を持て余しているといった回答が寄せられた。子どもに体験活動をさせられないことに困っているとの声もあった。子どもに関することでは、18歳以上への支援の必要性を訴える回答も多く見られた。高校を卒業しても多くは学生であることに変わりはないにも関わらず、18歳で支援が終わってしまうことで、家計に大きな打撃となっていることが伺える。

保護者自身についての困っていること、支援がほしいことを伝える回答も多い。正規雇用や賃上げ、働くための子どもの預かり場所・サービス、育児に加えて介護への支援を求める声が寄せられた。仕事・家事・育児、人によっては介護と多忙な中で、保護者の精神状態も悪化しており、常にイライラしている、精神疾患になった、死にたくなるときがあるなどの回答もあった。相談場所やひとり親同士の交流を求める声も多く見られた。

この他に、児童扶養手当等の増額や所得制限見直し、養育費の確実な支払い、多子世帯への支援、支援の地域格差是正を求める回答等があった。

表 7 現在困っていることや支援がほしいこと
(自由回答、全 1,308 件、一部抜粋・引用者にて編集)

- **食料や日用品、光熱費**
- 我が家の家計はほぼ食費なのですが、物価高騰の影響で買えないものが増えました。食糧支援があると一番助かります。
 - 子供に栄養がある物を食べさせてあげたいし、クリスマス、ケーキ、プレゼント、正月くらいは美味しい物を食べさせてあげたいです。
 - 成長期に十分食べさせられないが、給食時間も10分と短く給食にも期待できない。中学生ですが病院を勧められるような低身長で不安。
 - 給料もあがることなく、子供は成長し食欲も増す中、十分に食べさせてあげることができていない。下の子は極度の貧血になってしまいました。運動制限もかけられました。
 - お肉や野菜、調味料など色々な物が値上げしていて買えないものが多すぎます。子どもに食べさせるために自分の食べる分を減らしています。
 - 娘ばかりなので、生理用品とかの支援が欲しい。生活消耗品や子供の服、上履き等学用品の支援が欲しい。
 - とにかく筆記用具や食や子供の靴、下着に困ってます。買うことも子供3人難しく下着は娘2人私の下着借りたり靴下もシェアしたり靴はボンドで止めています。
 - 衣服が買えなくて困っている。自分の服は我慢できるが子どもはどうしてもサイズアウトなどで着られなくなるし、買わないわけにもいかず辛い。
 - これから寒い季節になるのに灯油やガス代が高くて週に1度位しかお風呂を沸かすことが出来ません。光熱費費用の補助か、現物支給があれば毎日お風呂に入らせてあげることが出来ます。温かい毛布や布団も欲しいです。
 - 私の住む地域は1年中ガソリンを使い、これから寒い時期は灯油や電気もすごく使います。私1人なら暖房等は我慢しますが子ども達に何枚も重ね着をさせて寒い思いをさせるのは切ないので、ガソリンや灯油、電気代などの価格が本当に下がって欲しいです。
- **住宅**
- 家賃が高いです。自身の住んでいる市は市営住宅に入居できれば格安で住めますが、市営住宅

に当選しなければ補助が一切ないのでつらいです。

- 家賃補助。市営住宅を応募しても外れるばかり。ひとり親枠での応募は、児童扶養手当受給者のみではなく、大学生のあいだは応募させて欲しい。
- 住宅に困っているが公営住宅が当たらない。民間の賃貸はシングルで無職だと審査に通らない。
- 家賃補助が1番大きいです。収入に見合った建物ですがそれでも母子家庭では家計を1番圧迫している要因になっているのでその支援があるととても経済的にも精神的にも負担が軽減されるかなと思うのですが。

➤ デジタル環境

- PCの貸出とかあれば嬉しい。
- パソコンが欲しいと言われるがお金がなく、購入してあげることができない。支援や給付金があればいい。
- 今や学校でもインターネット環境が必須なのでネットをもっと手頃に使えたら良いと思います。
- インターネットを使うために、ルータ等の機器を貸し出していただけたら助かります。
- 就学援助にWi-Fi設置費用、通信費用を加えて欲しいです。今までインターネットを使用していなかった。母親のスマホの契約ギガだけで生活できていた。学校の授業でiPadを使用するようになりWi-Fiの契約をし毎月通信費用がかかっている。
- スマホを持たせられないので連絡手段がありません。先日自転車で転倒し脳震盪をおこし救急搬送されました。近くにいたので今回は大丈夫でしたが、私がいなかった時に今回のような事があつたら…と思うとこわくてしかたありません。

➤ 借入

- とにかくお金がない。借金が増えるいっぽうで負の連鎖からぬけられない。
- 賃金が安く家計が回らないため借金が増えてしまいます。
- 高校、大学共に私立で、想像以上にお金が掛かり、奨学金を利用していても全然足りない。借金が増える一方で本当に困っている。
- お金が無く借りては返しての繰り返し。ローンも作りたくないが生きていくため仕方ない。減らせる方法があれば。
- 負債が多くて、家賃・光熱費などが支払い出来ず滞納状態…低金利、もしくは保証人立てて金利なしで市や区からお金を借りたりできないでしょうか…。
- コロナの影響を受けて貧困層のどん底から物価高騰の煽りを受け、また貧困層に落ちている。もう借金できる金融機関もない。貧困層はお金を借りることすらできない。どうやって生きていくべきかわからないまま日々過ごしている。
- 少ない収入と物価高騰、借金返済で生きるか死ぬかの毎日を送っています。国には一刻も早く給付金支給をしてほしいです。

➤ 現金給付

- 現金が欲しい。結局はそこが改善されないから。この冬どのように(暖房)すごそうか正直考えただけで、辛い。
- 現金支給。とにかくこれがあれば心のゆとりも生まれます。今は他に何も要りません。
- ガス、電気や家賃がかなり高い。一番は現金給付してほしい。お金がないと何も買えないし生活出来ない。給付金はありがたいが金額が少ないので全然支払が追い付かない。

- 物価高騰で、現金給付をしてほしい。賃上げでも物価高騰であまり体感できないので違う形の支援がほしいです。
- 一時的な給付金じゃなくて継続的にしてほしい。

➤ **教育費（授業料、学用品、受験費用等）**

- 義務教育は、公立の授業料など無料にしてほしいです。就学援助はありますが、全額ではないので。
- 高校生になって色々な検定を受ける事が多くなり検定料金の支援があると嬉しいです。
- 学費や通学費、制服代、パソコン購入費(高校生、強制購入)を支援して欲しい。
- 学校で必要とする習字道具、リコーダー、裁縫道具などの支援などがあるとよいなど。
- 物価高が酷すぎる。去年と比べてひと月の手当は 1000 円ちょっとの増加に対し、1 万円以上支出が増えている。就学奨励費に林間学校や修学旅行の為に購入した物を対象外にしないで欲しい。
- 大学受験や模試、資格試験の援助。大学入学のための補助など。高校生、お金がかかります。模試を受けない選択肢はありません。
- 高校生の次女に大学に進学したいと言われた時に、すでに長女が私立大学の 2 年生で学校でお金がないので応援してあげられない。
- 今の日本には先が見えないです。もっともっと子供達が大人になった時に、やりたい事を自由に学べる環境を無償にして欲しいです。進学したくても出来ないとか悲しすぎます。
- 大学が春からあるため、非常に金銭的に不安がある。娘は、夢があり、頑張ってるから言えないが、学費が高すぎて。全てを無償化して欲しい。受験代も、高すぎる。国に助けてもらいたい。お願いします。
- 大学受験費用などが支給される奨学金がほしい。
- 給付型奨学金の金額を増やして欲しい。
- 奨学金が、入学後でないと支給されないの、大学入学や前期授業料の支払い。新学期の準備等にかかる費用。などの出費の費用の捻出に困っている。
- 子どもの高校の入学資金、塾代などで金銭的に困っています。支援を利用すれば費用はほとんど戻ってきますが、一度支払いを行うためには借入をしないといけない状況です。

➤ **部活動・塾・習い事**

- 部費や部活で使う物が高いし試合があるたび送迎費もバカにならない。今度試合があるから用意してと言われてもできない時がある。
- 物価が高くなっているの、食糧や衣類の支援があると助かります。最近サッカーがやりたいと子どもが言うようになり思っていたより服やシューズ、靴下など揃えるものが多くてびっくりしています。今後部活などするようになると交通費やカバンなどもっと負担が増えると思うとサポートできるか不安です。
- 勉強についていけないけど、塾に行かせるお金がない。私が教えるには、平日はしんどくて教えてあげられず、また私のやり方は難しく理解出来ないという。高校受験を 2 年後にひかえるのに、どうしようかと思っている。塾支援金が欲しい。
- 生活保護世帯だけがいける無料塾がありますが、塾に行く金銭的余裕がない学びたい子供が通えるようにしてほしい。
- オンラインで勉強を教えて欲しいです。オンライン塾の無料あるいは低価格。負の連鎖は絶ちたいので、子供には親以外から教えてもらえる機会があったら嬉しいです。
- なにもかも値上がりで食費光熱費共に値上がりしているので、長男が唯一習っていた英語を

今年度で辞めることにしましたが、成績が悪いのに塾の費用がかかる為通えず、高校受験や将来が不安です。

- 物価高騰のため、習い事をやめさせました。子供の居場所もなくなり、特技も諦めざるをえなく、しょんぼりしています。このような子に低額で教えてくれる場（行政サービス？）があれば良いと思います。
- 子どもはプログラミングが大好きでブレンダーなどのソフトを使ってメタバースの作品づくりをしたがっています。経済的にPCを用意できないためせっかくの意欲を持て余しています。学校のタブレットは禁止事項が多く、ほとんど役にたっていません。放プロなどの活動にとっても興味があります。そんな活動をしている団体等の情報提供はとても助かります。
- 習い事費用の支援。現在、市町村で行われている習い事支援が5年生以上であるが、支援年齢を引き下げてほしい。

➤ 体験活動

- 物価高なのでなかなか遊びに行けないので楽しいことをしてあげたい。
- 普通の生活をするのに精一杯でお出かけに連れて行ってあげられないのが悔しい。お友達から出かけている話を聞くと羨ましそうでごめんねとしか言えない。食品の支援もとてもありがたいが出かけられるような機会も欲しいです。
- 余裕がなく子どもたちの体験活動がほとんど出来ません。長期休みでも出掛けられませんが余裕がありません。キッズドアのイベントに参加したいのですが、地方のため参加も難しいです。子ども達が他の家庭と比べてどこにも行けずつらい思いをしていないか不安です。
- どこに行くにも入場料や、交通費も高く、子どもを楽しませてあげられません。子どもの好きなイルカも実際には見たことはないです。水族館、遊園地、映画、宿泊料など、低価格または支援があると有り難いです。交通費もひとり親に対して世の中に支援ができると助かります。
- 行事ごととは言わないけど、卒入学式や七五三など節目の時に写真スタジオでのスナップ写真でもいいので、ちゃんとした写真を撮れたらと幾度となく思っているの、そういった事への支援が少しでもあれば…と思います。

➤ 不登校・引きこもり

- 思いもよらない子供が不登校になり、転職して間もない事もあり、親の私のメンタルが壊れてしまいそうになっている事。
- 不登校の子どもの付き添いで、思うように仕事に就けず、経済的にも厳しく、先の不安が大きいため、経済的な支援をいただけるとありがたいです。
- フリースクールを増やして…子供に合うスクールを選べるようにしてほしい。フリースクールなどの昼食代を補助してほしい。
- 今の高校の教師の一人が余りにも威圧過ぎて、辛いと言い出し、身体にも不調が出て来て心配。無事に高校卒業でき、職に就けるのか先が不安になる。でも親としては見守り信じて応援する。将来の設計について、色々とサポートして欲しい。
- 発達障害特性の不登校に何か支援あれば。
- 26歳の息子が引きこもりで困っています。相談先もよく分からないし本人も病院や相談にも行かないでいますし私1人の収入しかないので大変生活が苦しいです。

➤ 18歳以上への支援

- 高校生大学生への支援。正直1番お金がかかるのに政府の支援がない世代。ほんとに厳しい。
- 長男は大学生、来年から次男も専門学校生です。行政の支援は手当が終わりますが学生に変わ

りはなく、大学生、専門学校生まで手当が欲しいです。

- 大学生になると、支援などが少なくなってしまう。理系や医療系の大学では忙しく、バイトもあまりできない。大学生にも給付金や食料支援がもっとあると助かります。
- 子どもが高校を卒業します。児童扶養手当もなくなり医療費助成もなくなります。私は持病があり、現在はあまり働く事が出来ません。子どもは志望大学に合格をしました。目標があり、バイト中心でなく夢に向かうため勉学に励みたいそうです。今、ひとり親支援に本当に助けられています。全てのひとり親支援が子どもの就職まで続くと本当に有り難く思います。
- 大学生や、社会人になったばかりの人達の支援を考えて欲しい。ひとり親医療から外れて体調が更に悪くなり最近も手術をして入院しましたが、医療費が大変です。必死に働いて、体調が悪くなるばかりですが、子供が高校卒業したひとり親は、収入も増える訳でもなく急にすべてのハシゴが外された様な気持ちです。
- 専門学校に通う娘、一人暮らしですが、最近お金が減ることについてとても不安がっていて心配になります。厳しい学校のためアルバイトもできず私からの仕送りと奨学金で賄っていますがこの物価高で子供の精神的不安の影響が大きくなっていると感じました。

➤ 保護者の就労

- シングルマザーの就職に役立つ情報が欲しいです。会社も経営が厳しいようで経費削減とかで資格があっても資格手当をもらえる職種につかせてもらえず、なかなか正社員にもさせてもらえない為。
- 派遣法の撤廃を希望します。そして、最低時給を、とにかく上げていただきたいです。物価は上がるけれど、お給料は、減りました。正社員への道が、もっと開けたら良いと思います。
- 氷河期世代への正社員の就職を斡旋して欲しい。政府は広告だけ出してるが、実際は決まらないし働けていない。
- 安定職に就労するのが大変難しい。現在非正規雇用で来年の補償は何も無い状態で過ごしている為いつ無職になるかと言う不安が常にあり続ける。
- ひとり親で、親が車いす利用者。収入がないと生活が苦しいが、障がい者だと正社員にはなりにくい現状。政府が動いても中小企業はなにも変わらない。どうにかならないですか。
- 賃金も上がらず、大変苦しいです。中小企業は全く賃金を上げる気はないです。最低賃金を上げて欲しいです。
- 最低賃金があがり、所得が少し増えてもまだまだ貧しさのループから抜けられない。
- 低賃金の介護職で人員も不足している為仕事量が増加し、子供の事を蔑ろにしてしまっている。後ろめたさはあるが、仕事量を減らすわけにも行かず、休日は自分の休息にあててしまっている。介護職の賃金が底上げされ人員が増えると生活も助かるし、勤務状況も改善されるのでは無いかと思う。
- 2歳の子がいて仕事について限度があります。在宅ワークとかあれば教えていただきたいです
- できるだけ子どもに対する出費は減らしたくないので、休みの日もバイトを始めた。しかし、そうすると子どもと過ごす時間が減った。そして休みがない状態。正社員で働いているのに貯金もできないような収入で、政治に対して怒りしかない。寡婦控除があるため、一般の人よりマシとはいえ、それでも給料から引かれるものが多すぎる。
- 失業間際です。コロナで失業し、コロナ関連の仕事に就き、それが終わる為次の仕事を探さないといけません。

➤ 子どもの預かり

- 夜間や日曜日、祝日に子どもを見てくれる人がいない。

- 土曜保育が17時のため、仕事で迎えが間に合わない。ファミリーサポートも登録しているが、安くはないため、利用を控えている。以上から、土曜保育の時間延長やお迎えサポートがほしい。
- 小学校朝8時以降出ないと登校できない問題。会社が遠く間に合わないため、ひとり親家庭なのに時短勤務せざるを得ない。朝の学童保育を7:30等から受け入れてほしい。
- 学校が終わったあとの児童クラブがなくて困っています。学校が終わってから過ごす場所があるとフルで働けるようになると思うので助かります。
- 冬休みなど長期休みの時に過ごせる場が欲しい。特にひとり親は仕事の関係で休むのも厳しく留守番させるのも不安。
- 障害がある子でも受け入れてくれる学童などがあまりない。
- 子供の体調不良や学級閉鎖で仕事を休まないといけないのが困るため病児ヘルパーさん当たりの支援制度があると助かります。

➤ 介護

- 子育てと介護の支援。もう毎日倒れそうにキツイ。
- 介護のために子育てもままならない。経済的にも精神的にも限界でいつどうなるか分からない毎日をおくっています。
- 親の介護もあり、思うように働けない事があります。介護サポートを受けるにも、費用が高くて厳しいです。もっと、親の介護に対する助成やサービスがあればと思います。
- 高齢のひとり親で近い将来親の介護も必要になると思います。世帯主として仕事と育児と介護、このダブルケアが両立できるか心配。ひとり親の子どもへの影響がどのくらいあるのか心配。

➤ 保護者の精神状態

- 一人で常にイライラしている。誰かに話す気力もない。
- 精神疾患発症した為退職予定。今後の暮らし、新しい職探しが不安。
- 物価高騰により生活費、食費に困っています。適応障害で休職、退職しましたが、生活の為に無理やり就職し生活していますが、正直毎日安定剤漬けで心が崩壊しそうです。
- 全体的に住むところから食べることまでいつも悩んでばかりなので心理カウンセラーを受けたいです。
- 色んなことに困りすぎていて人生が辛い毎日を送っています。少し前まで毎日死にたい気持ちで1年以上過ごしてきました。子供も同じく少し前まで生きていたくないと言っていました。

➤ 相談・交流の場

- 相談したりする機会があったら、精神的ストレスが軽減できるかなと思います。親子で孤立する生活はしんどいです。
- 相談相手がなく困っています。色々サービスはあっても、役所ではアプリを見てくださいといわれるし、一緒に考え、探してくれる人がいないので、迷いもでるし、見極めができず、生きていくのが辛いです。もっと地域の情報や支援があるなら、それをわかりやすくしてほしいです。
- どのように生活していけば良いのか毎日、毎日ストレスを感じもっと相談できる場所などがあるといいです。
- 孤独を感じることもあり、つながりが欲しいと感じます。

- 同じ年代の子供を持つひとり親世代の人との交流の場が欲しい。
- 息子が発達障害の診断を受けた。ダブルワークをするために資格をとったところだったが、家をあげすぎるのは良くないと思い、生活は苦しいがもう少し家にいる事にした。シングルで発達の子をもつ親の場があればいいと思う。

➤ 児童扶養手当

- 児童扶養手当を増額して欲しい。3人目手当が欲しい。
- 児童扶養手当が、今年度で終わりますが、専門学校の方が、経費がかかるので、学生は児童扶養手当受けられるようにしてほしい。
- 児童扶養手当や母子医療証を大学卒業までに延長して欲しい。
- 児童扶養手当の所得制限緩和、撤廃を希望しています。支援がなくなる金額でも子供を養育できる金額には及ばないと感じるため。
- ギリギリ児童扶養手当対象外になりましたが、学童の助成や医療費の助成が受けられず、かえって出費はマイナスです。物価高ですが、給与も上がる見込みがなく、もともと服も買っておらず減らせるものが食費くらいになりました。この先も生活できるか、ギリギリで支援をうけられず頑張らなきゃいけないのかと思うと不安でしんどさを感じています。
- 収入を上げたいと思いつつ、収入が上がると児童扶養手当が減ってしまい、結果的に『無理して働かずに手当を貰えば良かった』と後悔してしまいます。金銭でなくても、何かしらの形で子供を支援してほしいと感じます。
- 物価あがり給料が上がったら、児童扶養手当の対象外になるのが困ります。大学無償化にまで影響があると、どうしたらいいのかわかりません。
- 児童扶養手当満額支給者は支援団体さんから支援を受けられていますが、正社員で働いたら一部支給になり支援を受けられないことが多くあります。結果、正社員ではなくパートや派遣社員で働き支援を受け子どもとの時間も十分にとれる働き方をする人が増えれば本末転倒だと思います。正社員で働いてる側にも目を向けて欲しいなと思います。
- 収入を増やそうとしてダブルワークで週6日勤務しています。身体にはきついですが、頑張っています。そうすると来年度の児童扶養手当が減ります。児童扶養手当を受給していると色々な支援が受けられるのでそのままだと良いのか…悩むこともあります。ただずっと貧困世帯って言われるのも悔しいので頑張っています！
- 児童扶養手当の受給額や対象の要件のハードルが高すぎる。例えばフルタイムやWワークで働き、ギリギリの要件で支援外となるケースが多く、それらの世帯が1番苦しいと思う。また、民間などの支援も児童扶養手当ありきの所が多く、児童扶養手当受給の有無が支援格差も作り出している現状がある。支援を受けられる層は多くの団体から支援を受けられるが、受給対象外となると支援が少ない。また、児童扶養手当は前年度の収入で見ると、年の途中で家計急変しても受給されず、やむを得ず失職、退職、休職した世帯大きな打撃を与えます。もっと柔軟に支給し、対象世帯を広げて欲しい。受給額も昨今の物価高を踏まえた額に引き上げていただきたい。

➤ 各種支援の所得制限

- ギリギリ非課税にならない苦しい母子家庭にも給付金が欲しい。
- 経済的な支援を切実に願っています。児童扶養手当のように、非課税世帯への給付金なども線引きせず段階的に金額を設定したらいいと思います。
- 懸命に貯蓄した結果、それが原因で子どもの奨学金が通らない。年収等では条件に当てはまるが、なんとしても進学させたく、節約を重ねた結果得られた貯蓄が原因で奨学金が通らないの

には納得できないでいる。このような可笑な状況を提言していただければ幸いです。

➤ **養育費**

- 養育費がいつもらえなくなるか不安。自治体が介入して欲しい
- 養育費の支払いもマイナンバーに紐付けしてほしい。
- 養育費の未払いで困っていますが、弁護士代も払えません。
- 養育費請求のための弁護士費用の補助を実施している市町村が少ないので、全国の市町村で実施してほしい。

➤ **多子世帯**

- 多子世帯の児童手当など、きちんと3人目4人目5人目と人数が増える事に、額も増やしてください。
- 多子世帯への給付金を出してほしい。少子化というが子供多い家に支援は全くない。それでは子供は増やせません。
- 子ども4人、食べ盛りでハードな部活もやっているしお弁当も週7で作るので食費は減らせません。賞味期限切れや訳ありなものを安く購入できる場があったらいいなと思います。
- こども5人に対して大人が1人なので家事に手が回らない。家の片付け方がわからないし、子どもたちに片付けを教えきれない。

➤ **支援の地域格差**

- 財源ある東京の子供育成手当、収入に関係なく一人につき5000円、バス地下鉄無料、受験生の塾代受かれば返済不要、水道料金無料。これに比べて地方は何一つ無料のものはございません。不公平さが否めません。
- 市町村によって補助等が違い過ぎて、隣の市は恵まれているのに私の住む市町村は本当に低すぎて、でも引越す事も出来ず、悲しいです。
- 東京ばかりひとり親に対して支援あるものが多いので平等にして欲しい。

➤ **その他**

- 普通の人みたいな生活をさせてやりたいです。
- 元々節約に節約を重ねて生活していますが、物価高騰もあり、もう削れる部分が本当にありません。
- 給与がまったく増えず、子供の出費は増えるので、お金がなくて困ってます。自分の事は我慢できますが、子供には我慢させたくありません。
- 子供が死にたいと言っているが、助ける方法が分からない。
- 思春期の子供を持つ一人親のサポート(経済的だけでなく心理的問題などのサポート)。
- 親が病気になったら子どもたちをどう生活させれば。養護施設ではなく、短期で頼れるヘルパーさんや家政婦さんのような制度があれば。
- 両親や頼れる親戚がないので、もしもの場合に寄り添ってくれるサポートが欲しいです。
- 低所得の、ふたり親も、ひとり親と同じように支援してほしいです。
- 一生懸命生活の為に働いていますが、物価高騰などでとても苦しい生活をしてます。貸付金などの支援があっても、これ以上返済金を多くしたくありません。生活支援の給付金や資格取得のための給付金を多くして欲しいですし、私達一般人はどんな給付金があるのかさえもわからないのです。そう言ったサイトなども教えて欲しいです…。

4.8 キッズドアへのメッセージ

キッズドアに対して全 1,131 件のメッセージが寄せられた。支援への感謝とともに、大学生への支援、都内以外でのイベント開催、アドボカシー活動の継続等を望む声があった。

表 8 キッズドアへのメッセージ
(自由回答、全 1,131 件、一部抜粋・引用者にて編集)

- いつも、ひとり親の悩みを聞いてくれて政府に伝えようとしてくれて有難いです。周りの人にもひとり親の悩みを話しても多分理解はしてくれないので、話せるところがあることが心強いです。
- いつもありがとうございます。先日は食育活動に参加させて頂き親子でとても良い体験が出来ました。無料で遠出出来る企画は本当にありがたかったし、子供の思い出に残る体験ができました。
- 夏の君津のバスツアー今でも子供たちは嬉しそうに話しています。度々キッズドアさんのイベントに参加している高校生の娘もコロナ禍で失った時間を取り戻すかの様に楽しんでいました。こういうイベントもあと二年しか参加できないのか…コロナで何もできないまま時間が過ぎてあと二年で大人って言われても辛い！とまだまだ色々な事やってみたいし、参加してみたいよと泣きだしてしまいました。
- いつも、色々なサポートに感謝しています。ED や学園で、お世話になり、本人も様々なスタッフさんと交流でき、良い経験しています。お金が無くても、地方にいても、質の高い学習を受けられて感謝しています。得難い経験と交流が、彼女の成長に彩りをくれました。これからも、よろしくお願い申し上げます。
- いつもいろいろな情報をありがとうございます！いろいろな経験をありがとうございます！食糧支援もありがとうございます！クーポンでラーメンを食べに行くのを中学生の息子たちはとても楽しみにしています。お店の方も「たくさん頼んでくださいね！」と言ってくれるのでありがたいです！私たちは、国ではなく、キッズドアのような民間団体に本当に救われています。
- 初めて食料支援の箱が届いた時、子供と「宝箱が届いた！」と喜びました。食料支援自体もありがたいのですが、誰かが私たちのことを気にしてくれているということが嬉しかったです。子供が自立した暁には、私たちが支える側に回りたいと思っています。本当にありがとうございます。
- いつも親切にしてくださりありがとうございます。おかげさまで一人じゃないと感じますし、努力も実り行政書士試験に合格して転職をしたり、一歩、いや 100 歩くらい踏み出すことができています。今は支援をしていただく側の人間ですが将来的には支援する側の方になれるように頑張りたいと思います。
- ネットリサーチの十分な時間、気力、体力がなく、いつも情報や支援を与えていただいて本当に助かっています。ありがとうございます。
- 様々なセミナーや情報など、いつもありがとうございます。子供に障害があり、外に出られないこともあるので、オンラインでの開催、たいへんありがたいです。
- セミナーとか zoom でやってもらえて、色々勉強になっています。調べたくても時間がなく、どこに聞いたらわからなかったりするものでありがたいです。
- 色々情報を発信してくださりありがとうございます。生活は大変ですが、昨年より心の重荷は軽くなりました。
- ラインが良く送られてきて、とても素晴らしいと思う。涙を流すときもある。色々ありがとう

ございます。娘は、英語のボランティアに興味持ちました。

- 登録してから間もないですが、このような支援をしていただけることへの感謝の気持ち、また、貧困への理解や支援のあり方を真剣に考えてくれる方々がいるという安心感をいただくことができました。ありがとうございます。
- キッズドアの支援があったおかげで上の子は大学生になりました。本当にありがとうございました。ただ下の子は不登校気味の為キッズドアの学習会等にも参加できず、どのようにしたらいいのか悩んでいます。不登校の子の親の対応についてオンラインの支援がほしいです。
- いつもいろいろサポートしてくださりありがとうございます。およそ 4 年お世話になっています。下の息子も高3になりました。文房具などもいただいて、本当に助かっていました。大学生向けのサポートもあれば心強いです。
- いつも食材を提供して下さったり、様々な体験ができるよう連絡をくださることはとても感謝しています。イベントは都内が多いため、なかなか参加はできていませんが、都内以外でも開催していただけたらとても嬉しいです。
- いつも支援をありがとうございます。一ひとり親が何をしても、政府は動いてくれないと思いますが、キッズドアのように団体として意見の取りまとめを行ってくれる集団が増えれば、政府も少しずつ、ひとり親への理解を示してくれることを願っています。ひとり親は、社会的弱者だと感じています。ひとり親家庭の子供が、ふたり親家庭と変わらない教育や経験を積める社会になってほしいと思います。

以上